

道路事業 再評価

意見照会にかかる各県知事の回答 費用便益分析資料

令和2年10月30日
国土交通省 東北地方整備局

目 次

<意見照会にかかる各県知事の回答>

○岩手県知事意見	1
○宮城県知事意見	2
○秋田県知事意見	4
○山形県知事意見	6

<費用便益分析資料>

○一般国道 4号 水沢東バイパス	8
○一般国道 46号 盛岡西バイパス	25
○一般国道 4号 大衡道路	42
○日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘	55
日本海沿岸東北自動車道（酒田みなと～遊佐）	72
一般国道 7号 遊佐象潟道路	90



道建第124号
令和2年10月27日

国土交通省東北地方整備局長 様

岩手県知事 達増 拓也

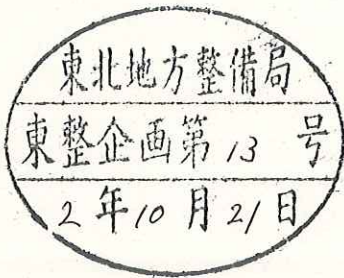


東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

令和2年10月9日付け国東整企画第68号で依頼のありましたこのことについて、下記のとおり意見を提出します。

記

事業名	意見
一般国道4号 水沢東バイパス	<p>1 「対応方針（原案）」案に対して異議ありません。</p> <p>2 一般国道4号水沢東バイパスは、市街地の交通渋滞の緩和や交通事故の減少、迅速で安定した救急搬送などの効果が期待されることから、令和7年度の開通に向けて、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。</p> <p>また、本事業において検討されたコスト縮減対策等については、本県で実施する事業においても十分検討し、活用していきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。</p>
一般国道46号 盛岡西バイパス	<p>1 「対応方針（原案）」案に対して異議ありません。</p> <p>2 一般国道46号盛岡西バイパスは、盛岡都市圏の交通の円滑化による都市環境の改善や東北縦貫自動車道へのアクセス向上などの効果が期待されることから、令和7年度の開通に向けて、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。</p> <p>また、本事業において検討された技術基準改定による橋梁の構造変更やコスト縮減対策等については、本県で実施する事業においても十分検討し、活用していきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。</p>



土総第 459号
令和2年 10月 21日

国土交通省東北地方整備局長 殿

宮城県知事 村井嘉浩



東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

本県の土木行政推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、令和2年10月9日付け国東整企画第68号で依頼のありましたこのことについて
は、下記のとおりです。

記

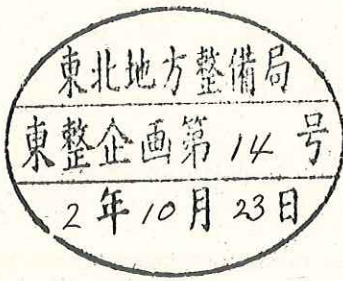
- 1 対象事業
一般国道4号 大衡道路
- 2 意見
「対応方針（原案）」のとおり「継続」で異議ありません。

東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見書

一般国道4号は、東日本の縦の大動脈として東北全般の産業経済活動や地域間交流を支える、極めて重要な役割を担う幹線道路であり、東日本大震災においては、並行する東北縦貫自動車道とともに、被災地への支援活動にも大きな役割を果たした。

評価対象の大衡道路は、慢性的な渋滞が発生し、特に冬期においては、東北縦貫自動車道が通行止めとなった際の代替路として、激しい渋滞が生じるなど、交通混雑が課題となっており、4車線化の早期完成が望まれている路線である。

今回の再評価においては、全体事業費や事業期間について、当初計画通りの事業実施が見込まれており、「対応方針（原案）」案に対して異議はない。引き続き、コスト縮減に最大限配慮いただき、一日も早い完成に向けて事業の進捗を図っていただきたい。



建 政 ー 748

令和2年10月23日

国土交通省

東北地方整備局長 梅野 修一 様

秋田県知事 佐竹 敬久

(公印省略)

東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針

(原案) 作成に係る意見照会について(回答)

令和2年10月9日付け国東整企画第68号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

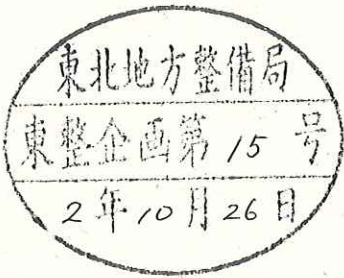
○一般国道7号 遊佐象潟道路（継続）

国の対応方針（原案）（案）について、異議ありません。

本県では、県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備を重点施策として位置づけており、人口減少社会であっても持続可能な地域づくりを進めるため、時間的距離を短縮し県土のコンパクト化を図るとともに、物流の効率化や交流人口の拡大を目指し、これまでも、高規格幹線道路の整備促進について強く働きかけてきたところであります。

現在、秋田・山形県境部における沿岸の幹線道路は、国道7号のみであり、全面通行止めが発生した場合には、大きな迂回を余儀なくされており、遊佐象潟道路の整備により、災害時の代替性確保や緊急医療施設へのアクセス性の向上が期待されるほか、航空機関連産業の競争力強化や、観光振興など地域の活性化に大きく寄与するものと考えております。

引き続き、コスト縮減に十分に配慮しながら、令和2年2月に公表された開通予定に向けて、必要な予算の確保及び一層の事業促進をお願いいたします。



管 第 178 号
令和2年10月26日

国土交通省

東北地方整備局長 殿

山形県知事 吉村 美栄子



東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

令和2年10月9日付け国東整企画第68号で依頼ありました標記のことについて、
別紙のとおり回答します。

【 道路事業 】

事業名	意見
<p>日本海沿岸 東北自動車道 酒田みなと～遊佐</p>	<p>1 「対応方針（原案）」案のとおり、「継続」で異議ありません。</p> <p>2 日本海沿岸東北自動車道は、日本海側を縦貫する大動脈として、災害時のリダンダンシーを確保し、国土強靱化に資するとともに、物流の効率化や産業の振興、観光交流の促進、救急医療活動への支援などに寄与する極めて重要な路線です。</p> <p>これまでの開通区間では、並行する国道7号の代替機能や観光客数の増加など多くのストック効果が確認されており、本区間の整備により、更なるストック効果の発現が期待されるところです。</p> <p>本県では、「第4次山形県総合発展計画」や「山形県道路中期計画2028」において“高速道路・地域高規格道路の整備”の重要性について盛り込んでいるところであり、引き続き、コスト縮減にも十分に配慮しながら、事業期間である令和5年度までの供用に向け、着実な予算の確保をお願いします。</p>
<p>一般国道7号 遊佐象潟道路</p>	<p>1 「対応方針（原案）」案のとおり、「継続」で異議ありません。</p> <p>2 一般国道7号「遊佐象潟道路」は、日本海沿岸東北自動車道を形成するもので、災害時のリダンダンシーを確保し、国土強靱化に資するとともに、物流の効率化や産業の振興、観光交流の促進、救急医療活動への支援などに寄与する極めて重要な路線です。</p> <p>これまでの開通区間では、並行する国道7号の代替機能や観光客数の増加など多くのストック効果が確認されており、本区間の整備により、更なるストック効果の発現が期待されるところです。</p> <p>本県では、「第4次山形県総合発展計画」や「山形県道路中期計画2028」において“高速道路・地域高規格道路の整備”の重要性について盛り込んでいるところであり、引き続き、コスト縮減にも十分に配慮しながら、事業期間である令和8年度までの供用に向け、着実な予算の確保をお願いします。</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道4号	水沢東バイパス	L=9.6km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,200	4	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	375億円	150億円	525億円
うち残事業分	95億円	87億円	182億円
基準年における 現在価値 (C)	619億円	53億円	672億円
うち残事業分	82億円	31億円	113億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和8年度			
単年便益 (初年便益)	40億円	6.3億円	0.42億円	46億円
基準年における 現在価値 (B)	596億円	100億円	7.3億円	703億円
うち残事業分	273億円	17億円	0.52億円	290億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.05
経済的純現在価値（事業全体）	31 億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.1%
費用便益比（残事業）	2.6
経済的純現在価値（残事業）	177 億円
経済的内部収益率（残事業）	12.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,200台/日	±10%	0.93~1.14
事業費	375億円	±10%	1.03~1.06
事業期間	41年	±1年	1.00~1.10

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,200台/日	±10%	1.4~3.8
事業費	95億円	±10%	2.4~2.8
事業期間	5年	±1年	2.5~2.7

交通状況の変化

様式-3①

事業名： 一般国道4号水沢東バイパス（全体事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 9.6km	交通量	[台/日]	0	20,200	
	走行時間	[分]	0	12	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	45.77	
②主な周辺道路	現道 国道4号 : 7.24km	交通量	[台/日]	13,200	7,400
		走行時間	[分]	21	15
		走行時間費用	[億円/年]	56.75	22.79
	市道 : 10.11km	交通量	[台/日]	4,500	500
		走行時間	[分]	21	19
		走行時間費用	[億円/年]	18.66	1.42
	国道343号 : 2.88km	交通量	[台/日]	9,800	2,900
		走行時間	[分]	8	5
		走行時間費用	[億円/年]	15.38	2.61
	市道 : 5.1km	交通量	[台/日]	5,600	2,100
		走行時間	[分]	12	10
		走行時間費用	[億円/年]	13.89	3.80
③その他道路合計 : 5162.40km		走行時間費用	[億円/年]	13,611.86	13,601.88

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計	: 5197.33km	走行時間短縮便益	[億円/年]	13,716.54	13,678.27	38.27

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名： 一般国道4号水沢東バイパス（全体事業）

【図面（①、②に該当する道路）】



交通状況の変化

様式-3①

事業名： 一般国道4号水沢東バイパス（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 9.6km (うち開通済 (2車線)6.9km)	交通量	[台/日]	13,600	20,200	
	走行時間	[分]	12	12	
	走行時間費用	[億円/年]	30.14	45.77	
②主な周 辺道路	現道 国道4号 : 7.24km	交通量	[台/日]	9,500	7,400
		走行時間	[分]	18	15
		走行時間費用	[億円/年]	35.75	22.79
	市道 : 10.11km	交通量	[台/日]	2,100	500
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	7.38	1.42
	国道343号 : 2.88km	交通量	[台/日]	4,300	2,900
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	4.17	2.61
	市道 : 5.1km	交通量	[台/日]	5,000	2,100
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	11.66	3.80
③その他道路合計 : 5162.40km		走行時間費用	[億円/年]	13,606.54	13,601.88

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計	: 5197.33km	走行時間短縮便益	[億円/年]	13,695.64	13,678.27	17.37

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名： 一般国道4号水沢東バイパス（残事業）

【図面（①、②に該当する道路）】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道4号水沢東バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 当該区間を管轄する水沢国道維持出張所の除雪車稼働日数より設定(H29~H31平均)	(80) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 走行速度調査より道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し、配分速度を補正		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名： 一般国道4号水沢東バイパス

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

		維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)		延長(km)	
				0.34		9.6	
						3.30	
				単価(億円)		単価(億円)	
				0.34		9.6	
						3.30	
事業名:	一般国道4号水沢東バイパス(全体事業)						
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-41年目	S 60	3.9461	105.7	0.20	0.77		
-40年目	S 61	3.7943	107.6	0.30	1.09		
-39年目	S 62	3.6484	107.3	0.80	2.80		
-38年目	S 63	3.5081	107.9	3.20	10.69		
-37年目	H 1	3.3731	110.8	1.79	5.60		
-36年目	H 2	3.2434	113.3	3.49	10.27		
-35年目	H 3	3.1187	116.0	4.48	12.38		
-34年目	H 4	2.9987	117.6	10.03	26.30		
-33年目	H 5	2.8834	117.9	17.59	44.22		
-32年目	H 6	2.7725	117.8	15.69	37.96		
-31年目	H 7	2.6658	117.1	27.93	65.36		
-30年目	H 8	2.5633	116.6	18.61	42.06		
-29年目	H 9	2.4647	117.5	16.27	35.08		
-28年目	H 10	2.3699	116.9	15.64	32.59		
-27年目	H 11	2.2788	115.2	5.83	11.86		
-26年目	H 12	2.1911	113.8	6.04	11.96		
-25年目	H 13	2.1068	112.4	19.61	37.79		
-24年目	H 14	2.0258	110.5	9.38	17.68		
-23年目	H 15	1.9479	109.0	9.19	16.88		
-22年目	H 16	1.8730	107.9	8.91	15.90		
-21年目	H 17	1.8009	106.7	8.03	13.93		
-20年目	H 18	1.7317	105.9	2.45	4.12		
-19年目	H 19	1.6651	105.0	1.43	2.33		
-18年目	H 20	1.6010	104.4	3.16	4.98		
-17年目	H 21	1.5395	103.0	2.88	4.43		
-16年目	H 22	1.4802	101.3	2.08	3.12		
-15年目	H 23	1.4233	99.8	2.09	3.06		
-14年目	H 24	1.3686	99.0	4.50	6.40		
-13年目	H 25	1.3159	99.0	2.92	3.99		
-12年目	H 26	1.2653	101.5	2.78	3.56		
-11年目	H 27	1.2167	103.0	2.96	3.59		
-10年目	H 28	1.1699	102.8	7.45	8.72		
-9年目	H 29	1.1249	102.9	8.69	9.77		
-8年目	H 30	1.0816	102.8	13.42	14.52		
-7年目	R 1	1.0400	102.8	14.94	15.54		
-6年目	R 2	1.0000	102.8	5.49	5.49		
-5年目	R 3	0.9615	102.8	16.42	15.79		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	23.71	21.92		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	23.63	21.01		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	18.91	16.16		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	12.15	9.99		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			3.00	2.37
1年目	R 9	0.7599	102.8			3.00	2.28
2年目	R 10	0.7307	102.8			3.00	2.19
3年目	R 11	0.7026	102.8			3.00	2.11
4年目	R 12	0.6756	102.8			3.00	2.03
5年目	R 13	0.6496	102.8			3.00	1.95
6年目	R 14	0.6246	102.8			3.00	1.87
7年目	R 15	0.6006	102.8			3.00	1.80
8年目	R 16	0.5775	102.8			3.00	1.73
9年目	R 17	0.5553	102.8			3.00	1.67
10年目	R 18	0.5339	102.8			3.00	1.60
11年目	R 19	0.5134	102.8			3.00	1.54
12年目	R 20	0.4936	102.8			3.00	1.48
13年目	R 21	0.4746	102.8			3.00	1.42
14年目	R 22	0.4564	102.8			3.00	1.37
15年目	R 23	0.4388	102.8			3.00	1.32
16年目	R 24	0.4220	102.8			3.00	1.27
17年目	R 25	0.4057	102.8			3.00	1.22
18年目	R 26	0.3901	102.8			3.00	1.17
19年目	R 27	0.3751	102.8			3.00	1.13
20年目	R 28	0.3607	102.8			3.00	1.08
21年目	R 29	0.3468	102.8			3.00	1.04
22年目	R 30	0.3335	102.8			3.00	1.00
23年目	R 31	0.3207	102.8			3.00	0.96
24年目	R 32	0.3083	102.8			3.00	0.92
25年目	R 33	0.2965	102.8			3.00	0.89
26年目	R 34	0.2851	102.8			3.00	0.86
27年目	R 35	0.2741	102.8			3.00	0.82
28年目	R 36	0.2636	102.8			3.00	0.79
29年目	R 37	0.2534	102.8			3.00	0.76
30年目	R 38	0.2437	102.8			3.00	0.73
31年目	R 39	0.2343	102.8			3.00	0.70
32年目	R 40	0.2253	102.8			3.00	0.68
33年目	R 41	0.2166	102.8			3.00	0.65
34年目	R 42	0.2083	102.8			3.00	0.62
35年目	R 43	0.2003	102.8			3.00	0.60
36年目	R 44	0.1926	102.8			3.00	0.58
37年目	R 45	0.1852	102.8			3.00	0.56
38年目	R 46	0.1780	102.8			3.00	0.53
39年目	R 47	0.1712	102.8			3.00	0.51
40年目	R 48	0.1646	102.8			3.00	0.49
41年目	R 49	0.1583	102.8			3.00	0.47
42年目	R 50	0.1522	102.8			3.00	0.46
43年目	R 51	0.1463	102.8			3.00	0.44
44年目	R 52	0.1407	102.8			3.00	0.42
45年目	R 53	0.1353	102.8			3.00	0.41
46年目	R 54	0.1301	102.8			3.00	0.39
47年目	R 55	0.1251	102.8			3.00	0.38
48年目	R 56	0.1203	102.8			3.00	0.36
49年目	R 57	0.1157	102.8	-109.56	-12.68	3.00	0.35
合計				265.51	618.98	150.00	52.97
単純事業費計				375.07		150.00	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

事業名：一般国道4号水沢東バイパス(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.20	9.6	1.92

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-5年目	R 3	0.9615	102.8	16.42	15.79		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	23.71	21.92		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	23.63	21.01		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	18.91	16.16		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	12.15	9.99		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			1.75	1.38
1年目	R 9	0.7599	102.8			1.75	1.33
2年目	R 10	0.7307	102.8			1.75	1.28
3年目	R 11	0.7026	102.8			1.75	1.23
4年目	R 12	0.6756	102.8			1.75	1.18
5年目	R 13	0.6496	102.8			1.75	1.13
6年目	R 14	0.6246	102.8			1.75	1.09
7年目	R 15	0.6006	102.8			1.75	1.05
8年目	R 16	0.5775	102.8			1.75	1.01
9年目	R 17	0.5553	102.8			1.75	0.97
10年目	R 18	0.5339	102.8			1.75	0.93
11年目	R 19	0.5134	102.8			1.75	0.90
12年目	R 20	0.4936	102.8			1.75	0.86
13年目	R 21	0.4746	102.8			1.75	0.83
14年目	R 22	0.4564	102.8			1.75	0.80
15年目	R 23	0.4388	102.8			1.75	0.77
16年目	R 24	0.4220	102.8			1.75	0.74
17年目	R 25	0.4057	102.8			1.75	0.71
18年目	R 26	0.3901	102.8			1.75	0.68
19年目	R 27	0.3751	102.8			1.75	0.65
20年目	R 28	0.3607	102.8			1.75	0.63
21年目	R 29	0.3468	102.8			1.75	0.61
22年目	R 30	0.3335	102.8			1.75	0.58
23年目	R 31	0.3207	102.8			1.75	0.56
24年目	R 32	0.3083	102.8			1.75	0.54
25年目	R 33	0.2965	102.8			1.75	0.52
26年目	R 34	0.2851	102.8			1.75	0.50
27年目	R 35	0.2741	102.8			1.75	0.48
28年目	R 36	0.2636	102.8			1.75	0.46
29年目	R 37	0.2534	102.8			1.75	0.44
30年目	R 38	0.2437	102.8			1.75	0.43
31年目	R 39	0.2343	102.8			1.75	0.41
32年目	R 40	0.2253	102.8			1.75	0.39
33年目	R 41	0.2166	102.8			1.75	0.38
34年目	R 42	0.2083	102.8			1.75	0.36
35年目	R 43	0.2003	102.8			1.75	0.35
36年目	R 44	0.1926	102.8			1.75	0.34
37年目	R 45	0.1852	102.8			1.75	0.32
38年目	R 46	0.1780	102.8			1.75	0.31
39年目	R 47	0.1712	102.8			1.75	0.30
40年目	R 48	0.1646	102.8			1.75	0.29
41年目	R 49	0.1583	102.8			1.75	0.28
42年目	R 50	0.1522	102.8			1.75	0.27
43年目	R 51	0.1463	102.8			1.75	0.26
44年目	R 52	0.1407	102.8			1.75	0.25
45年目	R 53	0.1353	102.8			1.75	0.24
46年目	R 54	0.1301	102.8			1.75	0.23
47年目	R 55	0.1251	102.8			1.75	0.22
48年目	R 56	0.1203	102.8			1.75	0.21
49年目	R 57	0.1157	102.8	-26.71	-3.09	1.75	0.20
合計				68.11	81.78	87.27	30.88
単純事業費計				94.82		87.27	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	水沢東バイパス	4	9.6km

■事業費内訳(全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				17,853	
	改良費				10,856	
		土工	m ³	1,960,184	5,386	切土(19,396m ³)、盛土(1,940,788m ³)
		軟弱地盤改良工	m ²	82,073	2,844	
		法面工	m ²	186,879	147	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	49	
		管渠工	m	3,580	257	
		函渠工	m	932	747	
		排水工	m	27,043	680	
		雑工	式	1	745	機能補償道路等
	橋梁費				3,367	
		100m以上	m			
		100m未満	m	279	3,367	13橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				2,998	
		車道舗装	m ²	169,050	2,695	
		歩道舗装	m ²	71,653	303	
	付帯施設費				632	
		交通管理施設工	式	1	632	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				15,596	
	用地費		m ²	377,158	10,956	
		宅地	m ²	161,667	6,021	
		田畑	m ²	110,000	1,100	
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²	105,491	3,835	
	補償費		式	1	4,640	
③	間接経費		式	1	5,551	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				39,000	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	水沢東バイパス	4	9.6km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				5,198	
	改良費				1,690	
		土工	m ³	478,600	892	切土(35,100m ³)、盛土(443,500m ³)
		軟弱地盤改良工	m ²			
		法面工	m ²	62,270	49	盛土法面
		擁壁工	式	1	41	
		管渠工	m	471	34	
		函渠工	m	340	273	
		排水工	m	7,606	191	
		雑工	式	1	210	機能補償道路等
	橋梁費				1,925	
		100m以上	m			
		100m未満	m	69	1,925	3橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,255	
		車道舗装	m ²	71,330	1,137	
		歩道舗装	m ²	27,930	118	
	付帯施設費				328	
		交通管理施設工	式	1	328	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				3,517	
	用地費		m ²	50,476	2,671	
		宅地	m ²	30,038	2,467	
		田畑	m ²	20,438	204	
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式	1	846	
③	間接経費		式	1	1,447	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				10,162	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	水沢東バイパス	4	9.6km

■維持管理費内訳(全体事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.6	3,650	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	12,850	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			16,500	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	水沢東バイパス	4	9.6km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.6	2,550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,050	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			9,600	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道46号	盛岡西バイパス	L=7.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
30,900	4,6	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	443億円	147億円	590億円
うち残事業分	111億円	58億円	168億円
基準年における 現在価値 (C)	790億円	52億円	842億円
うち残事業分	97億円	20億円	117億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和8年度			
単年便益 (初年便益)	66億円	6.8億円	1.2億円	74億円
基準年における 現在価値 (B)	996億円	104億円	18億円	1,117億円
うち残事業分	344億円	36億円	1.1億円	381億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	276 億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.8%
費用便益比（残事業）	3.2
経済的純現在価値（残事業）	264 億円
経済的内部収益率（残事業）	15.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	30,900台/日	±10%	0.99~1.6
事業費	443億円	±10%	1.3~1.3
事業期間	42年	±1年	1.3~1.4

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	30,900台/日	±10%	1.3~5.2
事業費	111億円	±10%	3.0~3.5
事業期間	5年	±1年	3.1~3.3

交通状況の変化

様式-3①

事業名： 一般国道46号盛岡西バイパス（全体事業）

（推計時点 R12年）

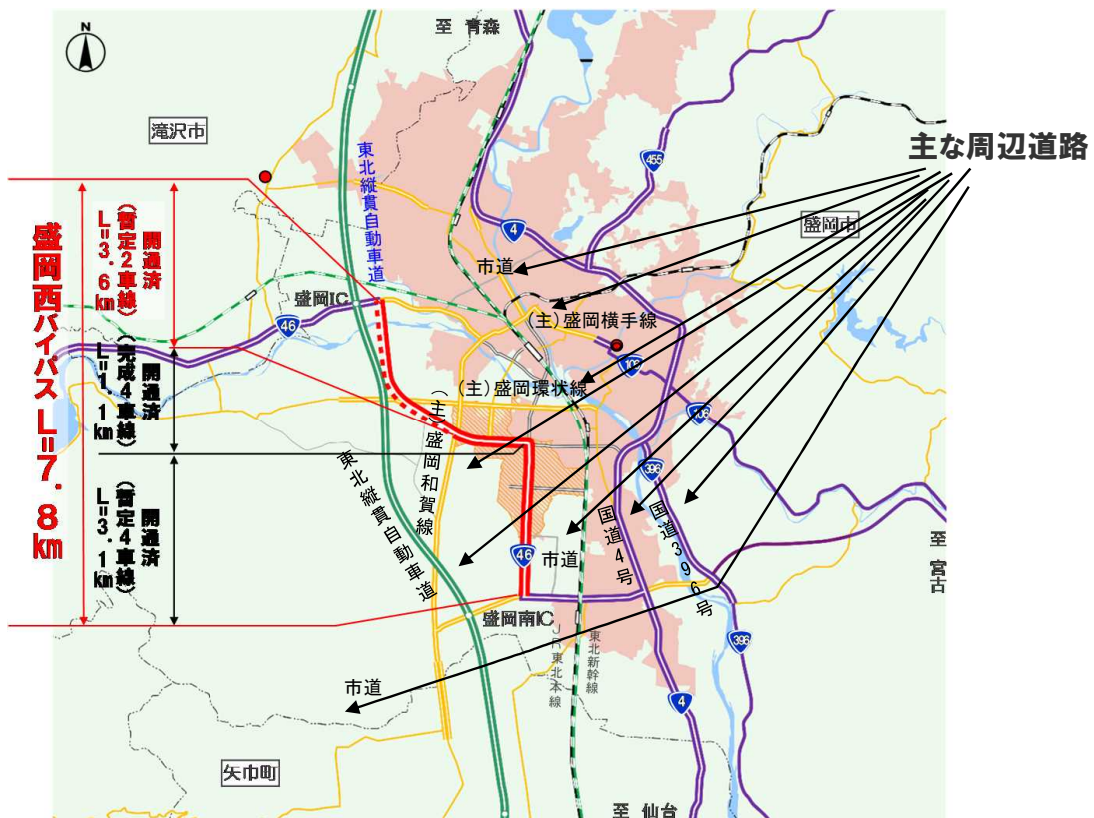
			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 盛岡西BP 延長：7.8km	交通量	[台/日]	0	30,900	
	走行時間	[分]	0	12	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	60.28	
②主な周辺道路	現道 市道・一般国道4号 ：13.71km	交通量	[台/日]	25,800	24,200
		走行時間	[分]	26	24
		走行時間費用	[億円/年]	122.61	107.07
	(主)盛岡和賀線 ：13.94km	交通量	[台/日]	21,400	13,800
		走行時間	[分]	27	26
		走行時間費用	[億円/年]	97.78	63.85
	一般国道396号 ：10.16km	交通量	[台/日]	17,300	15,200
		走行時間	[分]	20	19
		走行時間費用	[億円/年]	64.37	52.72
	(主)盛岡環状線 ：9.9km	交通量	[台/日]	7,500	4,900
		走行時間	[分]	20	19
		走行時間費用	[億円/年]	31.91	22.32
	市道 ：5.05km	交通量	[台/日]	8,100	4,600
		走行時間	[分]	11	9
		走行時間費用	[億円/年]	16.83	7.26
	(主)盛岡横手線 ：3.12km	交通量	[台/日]	24,100	16,300
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	22.82	14.91
	市道 ：21.72km	交通量	[台/日]	5,300	4,600
		走行時間	[分]	34	32
		走行時間費用	[億円/年]	35.45	29.18
東北縦貫道 ：22km	交通量	[台/日]	19,800	19,500	
	走行時間	[分]	13	13	
	走行時間費用	[億円/年]	51.49	50.72	
③その他道路合計 ：1423.2km	走行時間費用	[億円/年]	2,435.30	2,406.55	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計	：1530.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,878.56	2,814.86	63.70

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名： 一般国道46号盛岡西バイパス（全体事業）

【図面（①、②に該当する道路）】



交通状況の変化

様式-3①

事業名： 一般国道46号盛岡西バイパス（残事業）

（推計時点 R12年）

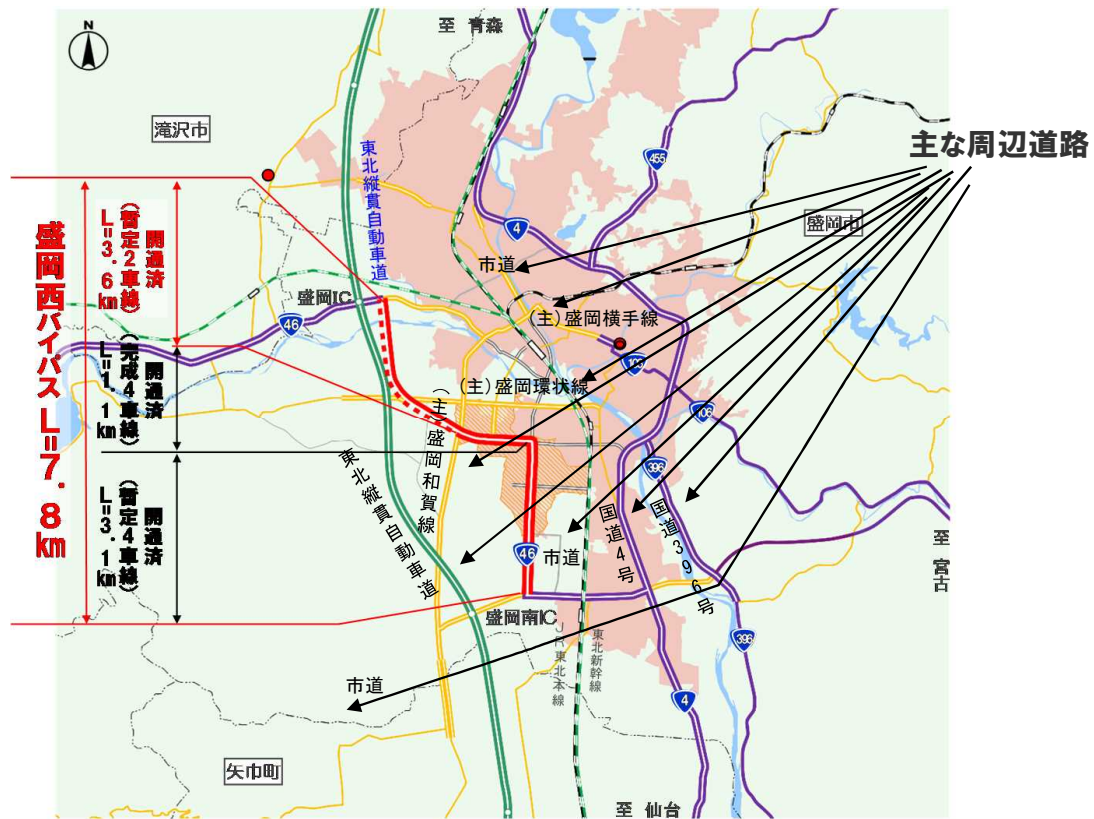
			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 盛岡西BP 延長：7.8km	交通量	[台/日]	22,400	30,900	
	走行時間	[分]	13	12	
	走行時間費用	[億円/年]	53.10	60.28	
②主な周辺道路	現道 市道・一般国道4号 ：13.71km	交通量	[台/日]	24,700	24,200
		走行時間	[分]	24	24
		走行時間費用	[億円/年]	110.27	107.07
	(主)盛岡和賀線 ：13.94km	交通量	[台/日]	14,800	13,800
		走行時間	[分]	26	26
		走行時間費用	[億円/年]	67.55	63.85
	一般国道396号 ：10.16km	交通量	[台/日]	15,700	15,200
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	55.04	52.72
	(主)盛岡環状線 ：9.9km	交通量	[台/日]	5,800	4,900
		走行時間	[分]	20	19
		走行時間費用	[億円/年]	25.00	22.32
	市道 ：5.05km	交通量	[台/日]	6,900	4,600
		走行時間	[分]	12	9
		走行時間費用	[億円/年]	15.38	7.26
	(主)盛岡横手線 ：3.12km	交通量	[台/日]	17,800	16,300
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	16.24	14.91
	市道 ：21.72km	交通量	[台/日]	5,100	4,600
		走行時間	[分]	33	32
		走行時間費用	[億円/年]	32.44	29.18
東北縦貫道 ：22km	交通量	[台/日]	19,600	19,500	
	走行時間	[分]	13	13	
	走行時間費用	[億円/年]	50.91	50.72	
③その他道路合計 ：1423.2km	走行時間費用	[億円/年]	2,410.94	2,406.55	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計	：1530.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,836.87	2,814.86	22.01

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名： 一般国道46号盛岡西バイパス（残事業）

【図面（①、②に該当する道路）】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道46号盛岡西バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 当該区間を管轄する盛岡西国道維持出張所の除雪車稼働日数より設定(H29～H31平均)	(120) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 走行速度調査より道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し、配分速度を補正	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
	雪寒費	当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出		
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>
				<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
			考慮する場合のみ	事業費を考慮
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

事業名：一般国道46号盛岡西バイパス(全体事業)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)	
				0.41		7.8		3.23	
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)			
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値		
-42年目	S 59	4.1039	105.0	0.20	0.80				
-41年目	S 60	3.9461	105.7	0.70	2.69				
-40年目	S 61	3.7943	107.6	2.60	9.43				
-39年目	S 62	3.6484	107.3	8.60	30.05				
-38年目	S 63	3.5081	107.9	12.50	41.78				
-37年目	H 1	3.3731	110.8	18.71	58.58				
-36年目	H 2	3.2434	113.3	13.31	39.19				
-35年目	H 3	3.1187	116.0	15.60	43.12				
-34年目	H 4	2.9987	117.6	20.12	52.75				
-33年目	H 5	2.8834	117.9	7.43	18.68				
-32年目	H 6	2.7725	117.8	8.33	20.15				
-31年目	H 7	2.6658	117.1	6.86	16.05				
-30年目	H 8	2.5633	116.6	13.82	31.23				
-29年目	H 9	2.4647	117.5	12.20	26.31				
-28年目	H 10	2.3699	116.9	19.12	39.85				
-27年目	H 11	2.2788	115.2	12.08	24.56				
-26年目	H 12	2.1911	113.8	6.90	13.66				
-25年目	H 13	2.1068	112.4	11.19	21.56				
-24年目	H 14	2.0258	110.5	10.19	19.20				
-23年目	H 15	1.9479	109.0	6.39	11.74				
-22年目	H 16	1.8730	107.9	9.02	16.10				
-21年目	H 17	1.8009	106.7	8.25	14.31				
-20年目	H 18	1.7317	105.9	6.51	10.94				
-19年目	H 19	1.6651	105.0	6.83	11.13				
-18年目	H 20	1.6010	104.4	16.82	26.52				
-17年目	H 21	1.5395	103.0	20.73	31.85				
-16年目	H 22	1.4802	101.3	13.49	20.26				
-15年目	H 23	1.4233	99.8	4.44	6.51				
-14年目	H 24	1.3686	99.0	8.90	12.65				
-13年目	H 25	1.3159	99.0	2.63	3.59				
-12年目	H 26	1.2653	101.5	1.56	2.00				
-11年目	H 27	1.2167	103.0	5.93	7.20				
-10年目	H 28	1.1699	102.8	3.82	4.47				
-9年目	H 29	1.1249	102.9	2.86	3.21				
-8年目	H 30	1.0816	102.8	11.07	11.97				
-7年目	R 1	1.0400	102.8	2.51	2.61				
-6年目	R 2	1.0000	102.8	0.55	0.55				
-5年目	R 3	0.9615	102.8	4.55	4.37				
-4年目	R 4	0.9246	102.8	27.28	25.22				
-3年目	R 5	0.8890	102.8	28.18	25.05				
-2年目	R 6	0.8548	102.8	27.41	23.43				
-1年目	R 7	0.8219	102.8	23.11	18.99				
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			2.94	2.32		
1年目	R 9	0.7599	102.8			2.94	2.23		
2年目	R 10	0.7307	102.8			2.94	2.15		
3年目	R 11	0.7026	102.8			2.94	2.06		
4年目	R 12	0.6756	102.8			2.94	1.98		
5年目	R 13	0.6496	102.8			2.94	1.91		
6年目	R 14	0.6246	102.8			2.94	1.83		
7年目	R 15	0.6006	102.8			2.94	1.76		
8年目	R 16	0.5775	102.8			2.94	1.70		
9年目	R 17	0.5553	102.8			2.94	1.63		
10年目	R 18	0.5339	102.8			2.94	1.57		
11年目	R 19	0.5134	102.8			2.94	1.51		
12年目	R 20	0.4936	102.8			2.94	1.45		
13年目	R 21	0.4746	102.8			2.94	1.39		
14年目	R 22	0.4564	102.8			2.94	1.34		
15年目	R 23	0.4388	102.8			2.94	1.29		
16年目	R 24	0.4220	102.8			2.94	1.24		
17年目	R 25	0.4057	102.8			2.94	1.19		
18年目	R 26	0.3901	102.8			2.94	1.15		
19年目	R 27	0.3751	102.8			2.94	1.10		
20年目	R 28	0.3607	102.8			2.94	1.06		
21年目	R 29	0.3468	102.8			2.94	1.02		
22年目	R 30	0.3335	102.8			2.94	0.98		
23年目	R 31	0.3207	102.8			2.94	0.94		
24年目	R 32	0.3083	102.8			2.94	0.91		
25年目	R 33	0.2965	102.8			2.94	0.87		
26年目	R 34	0.2851	102.8			2.94	0.84		
27年目	R 35	0.2741	102.8			2.94	0.80		
28年目	R 36	0.2636	102.8			2.94	0.77		
29年目	R 37	0.2534	102.8			2.94	0.74		
30年目	R 38	0.2437	102.8			2.94	0.72		
31年目	R 39	0.2343	102.8			2.94	0.69		
32年目	R 40	0.2253	102.8			2.94	0.66		
33年目	R 41	0.2166	102.8			2.94	0.64		
34年目	R 42	0.2083	102.8			2.94	0.61		
35年目	R 43	0.2003	102.8			2.94	0.59		
36年目	R 44	0.1926	102.8			2.94	0.57		
37年目	R 45	0.1852	102.8			2.94	0.54		
38年目	R 46	0.1780	102.8			2.94	0.52		
39年目	R 47	0.1712	102.8			2.94	0.50		
40年目	R 48	0.1646	102.8			2.94	0.48		
41年目	R 49	0.1583	102.8			2.94	0.46		
42年目	R 50	0.1522	102.8			2.94	0.45		
43年目	R 51	0.1463	102.8			2.94	0.43		
44年目	R 52	0.1407	102.8			2.94	0.41		
45年目	R 53	0.1353	102.8			2.94	0.40		
46年目	R 54	0.1301	102.8			2.94	0.38		
47年目	R 55	0.1251	102.8			2.94	0.37		
48年目	R 56	0.1203	102.8			2.94	0.35		
49年目	R 57	0.1157	102.8			2.94	0.34		
合計				-125.28	-14.49	2.94	0.34		
単純事業費計				443.30	789.82	146.82	51.84		

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

事業名: 一般国道46号盛岡西バイパス(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.16	7.8	1.27

年次	年度	割引率	GDP デフレ率	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-5年目	R 3	0.9615	102.8	4.55	4.37		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	27.28	25.22		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	28.18	25.05		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	27.41	23.43		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	23.11	18.99		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			1.15	0.91
1年目	R 9	0.7599	102.8			1.15	0.88
2年目	R 10	0.7307	102.8			1.15	0.84
3年目	R 11	0.7026	102.8			1.15	0.81
4年目	R 12	0.6756	102.8			1.15	0.78
5年目	R 13	0.6496	102.8			1.15	0.75
6年目	R 14	0.6246	102.8			1.15	0.72
7年目	R 15	0.6006	102.8			1.15	0.69
8年目	R 16	0.5775	102.8			1.15	0.67
9年目	R 17	0.5553	102.8			1.15	0.64
10年目	R 18	0.5339	102.8			1.15	0.62
11年目	R 19	0.5134	102.8			1.15	0.59
12年目	R 20	0.4936	102.8			1.15	0.57
13年目	R 21	0.4746	102.8			1.15	0.55
14年目	R 22	0.4564	102.8			1.15	0.53
15年目	R 23	0.4388	102.8			1.15	0.51
16年目	R 24	0.4220	102.8			1.15	0.49
17年目	R 25	0.4057	102.8			1.15	0.47
18年目	R 26	0.3901	102.8			1.15	0.45
19年目	R 27	0.3751	102.8			1.15	0.43
20年目	R 28	0.3607	102.8			1.15	0.42
21年目	R 29	0.3468	102.8			1.15	0.40
22年目	R 30	0.3335	102.8			1.15	0.39
23年目	R 31	0.3207	102.8			1.15	0.37
24年目	R 32	0.3083	102.8			1.15	0.36
25年目	R 33	0.2965	102.8			1.15	0.34
26年目	R 34	0.2851	102.8			1.15	0.33
27年目	R 35	0.2741	102.8			1.15	0.32
28年目	R 36	0.2636	102.8			1.15	0.30
29年目	R 37	0.2534	102.8			1.15	0.29
30年目	R 38	0.2437	102.8			1.15	0.28
31年目	R 39	0.2343	102.8			1.15	0.27
32年目	R 40	0.2253	102.8			1.15	0.26
33年目	R 41	0.2166	102.8			1.15	0.25
34年目	R 42	0.2083	102.8			1.15	0.24
35年目	R 43	0.2003	102.8			1.15	0.23
36年目	R 44	0.1926	102.8			1.15	0.22
37年目	R 45	0.1852	102.8			1.15	0.21
38年目	R 46	0.1780	102.8			1.15	0.21
39年目	R 47	0.1712	102.8			1.15	0.20
40年目	R 48	0.1646	102.8			1.15	0.19
41年目	R 49	0.1583	102.8			1.15	0.18
42年目	R 50	0.1522	102.8			1.15	0.18
43年目	R 51	0.1463	102.8			1.15	0.17
44年目	R 52	0.1407	102.8			1.15	0.16
45年目	R 53	0.1353	102.8			1.15	0.16
46年目	R 54	0.1301	102.8			1.15	0.15
47年目	R 55	0.1251	102.8			1.15	0.14
48年目	R 56	0.1203	102.8			1.15	0.14
49年目	R 57	0.1157	102.8	0.00	0.00	1.15	0.13
合計				110.53	97.06	57.73	20.39

単純事業費計	110.53	57.73
--------	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

事業名：一般国道46号盛岡西バイパス(全体事業)

便益の現在価値算定表

Table with columns for Year (年度), GDP, Interest Rate (割引率), and various benefit categories (乗用車, 小型貨物, 普通貨物). It includes sub-sections for '縮便益(億円)', '走行時間短縮便益(億円)', '走行経費減少便益(億円)', and '事故減少便益(億円)'. The final column shows the total present value (合計) for each year and a grand total at the bottom.

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道46号	盛岡西バイパス	4,6	7.8km

■事業費内訳(全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					22,650		
	改良費					10,302	
		土工	m ³	347,255	652	切土(32,283m ³)、盛土(314,972m ³)	
		軟弱地盤改良工	m ³	904,300	2,808		
		法面工	m ²	66,654	88	切土法面、盛土法面	
		擁壁工	式	1	12		
		管渠工	m	4,590	448		
		函渠工	m	737	612		
		排水工	m	23,485	813		
	雑工	式	1	4,869	機能補償道路等		
	橋梁費					9,777	
		100m以上	m	1,522	9,777	2橋	
		100m未満	m				
	トンネル費						
		NATM	m				
	シールド	m					
	IC・JCT費						
		IC	箇所				
	JCT	箇所					
	舗装費					2,208	
		車道舗装	m ²	176,100	1,939		
歩道舗装		m ²	74,900	269			
付帯施設費					363		
	交通管理施設工	式	1	363	防護柵工等		
	遮音壁	m					
②用地及補償費					16,200		
	用地費			m ²	284,951	12,528	
		宅地	m ²	142,510	9,371		
		田畑	m ²	142,151	3,156		
		山林・原野	m ²	290	1		
		その他	m ²				
補償費	式	1	3,672				
③間接経費			式	1	6,450	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					45,300		

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道46号	盛岡西バイパス	4,6	7.8km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考		
①工事費						9,949		
	改良費						2,022	
		土工	m ³	2,000	7			
		軟弱地盤改良工	m ³					
		法面工	m ²	3,100	35	切土法面、盛土法面		
		擁壁工	式	1	8			
		管渠工	m					
		函渠工	m					
		排水工	m	1,500	49			
	雑工	式	1	1,923	機能補償道路等			
	橋梁費						7,355	
		100m以上	m	1,522	7,355	2橋		
		100m未満	m					
	トンネル費							
		NATM	m					
	シールド	m						
	IC・JCT費							
		IC	箇所					
	JCT	箇所						
	舗装費						443	
		車道舗装	m ²	37,600	434			
歩道舗装		m ²	2,000	9				
付帯施設費						129		
	交通管理施設工	式	1	129	防護柵工等			
	遮音壁	m						
②用地及補償費						478		
	用地費				m ²			
		宅地	m ²					
		田畑	m ²					
		山林・原野	m ²					
		その他	m ²					
補償費	式	1	478					
③間接経費				式	1	1,730	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費						12,157		

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道46号	盛岡西バイパス	4,6	7.8km

■維持管理費内訳(全体事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.8	3,400	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	12,750	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			16,150	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道46号	盛岡西バイパス	4,6	7.8km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.8	1,850	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,500	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,350	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道4号	大衡道路	L=4.5km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
26,900	4	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	73億円	42億円	115億円
うち残事業分	53億円	42億円	95億円
基準年における 現在価値 (C)	68億円	15億円	83億円
うち残事業分	47億円	15億円	62億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和8年度			
単年便益 (初年便益)	8.1億円	0.56億円	0.13億円	8.8億円
基準年における 現在価値 (B)	131億円	9.9億円	2.3億円	143億円
うち残事業分	131億円	9.9億円	2.3億円	143億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	60億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.6%
費用便益比（残事業）	2.3
経済的純現在価値（残事業）	81億円
経済的内部収益率（残事業）	10.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（全事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	26,900台/日	±10%	1.5 ~ 1.9
事業費	73億円	±10%	1.6 ~ 1.8
事業期間	10年	±1年	1.7 ~ 1.8

④ 感度分析（残事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	26,900台/日	±10%	2.0 ~ 2.6
事業費	53億円	±10%	2.1 ~ 2.5
事業期間	5年	±1年	2.2 ~ 2.4

交通状況の変化

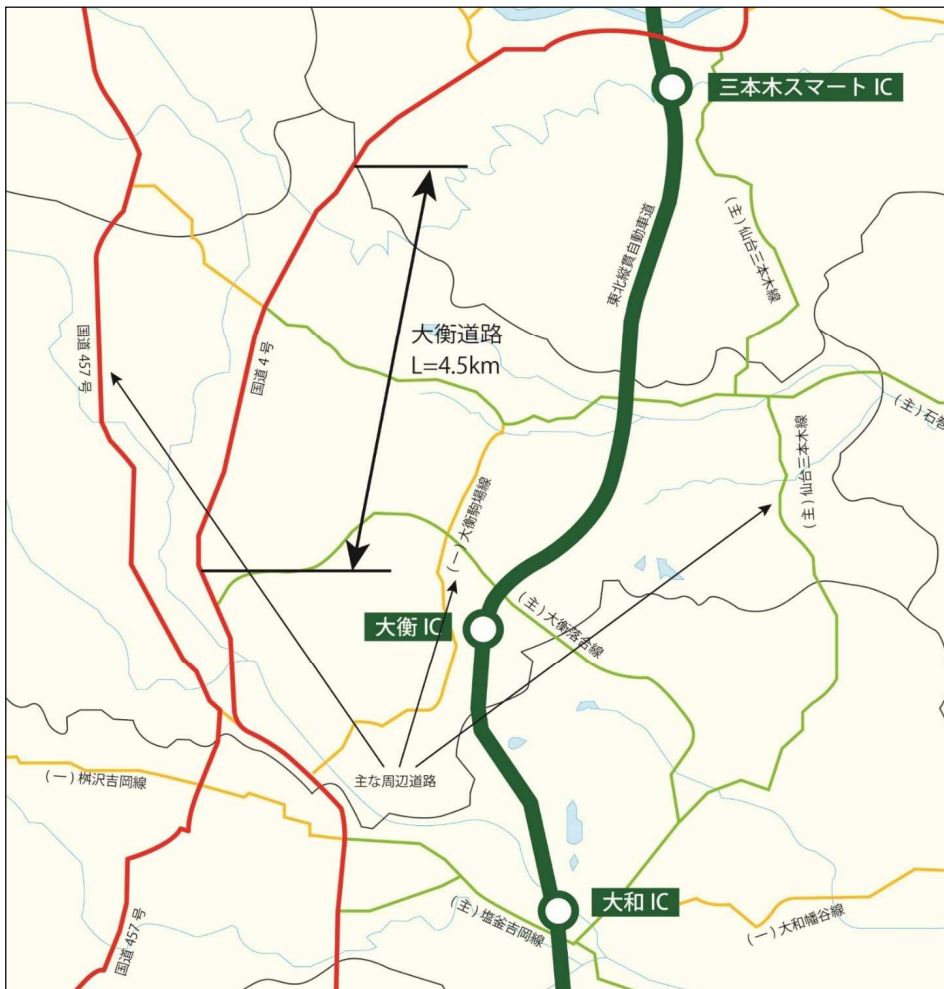
一般国道4号大衡道路（全体・残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 一般国道4号 大衡道路 :4.50km	交通量	[台/日]	22,700	26,900		
	走行時間	[分]	8	5		
	走行時間費用	[億円/年]	35.23	28.13		
②主な周辺 道路	一般国道457 号 :4.75km	交通量	[台/日]	13,900	11,400	
		走行時間	[分]	8	8	
		走行時間費用	[億円/年]	19.74	15.49	
	(一)大衡駒場線 :2.50km	交通量	[台/日]	3,400	3,200	
		走行時間	[分]	5	5	
		走行時間費用	[億円/年]	2.94	2.72	
	(主)仙台三本木 線 :3.00km	交通量	[台/日]	4,800	3,900	
		走行時間	[分]	4	4	
		走行時間費用	[億円/年]	3.43	2.64	
③その他道路合計 :2676.78km		走行時間費用	[億円/年]	8557.85	8562.14	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計:2691.53km		走行時間短縮便益	[億円/年]	8619.19	8611.12	8.07

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

一般国道4号大衡道路（全体・残事業）



費用便益分析の条件

事業名：一般国道4号大衡道路(全体・残事業)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で並行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 当該区間を管轄する仙台東国道維持出張所の除雪稼働日数より設定(H29~R1)	(65) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 プローブデータより道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し、配分速度を補正		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名: 一般国道4号大衡道路(全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.210	4.5	0.93

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 28	1.1699	102.8	0.46	0.54		
-9年目	H 29	1.1249	102.9	1.85	2.08		
-8年目	H 30	1.0816	102.8	2.33	2.52		
-7年目	R 1	1.0400	102.8	4.65	4.84		
-6年目	R 2	1.0000	102.8	10.98	10.98		
-5年目	R 3	0.9615	102.8	15.77	15.16		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	18.61	17.21		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	9.09	8.08		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	8.18	6.99		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	0.91	0.75		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			0.85	0.67
1年目	R 9	0.7599	102.8			0.85	0.64
2年目	R 10	0.7307	102.8			0.85	0.62
3年目	R 11	0.7026	102.8			0.85	0.59
4年目	R 12	0.6756	102.8			0.85	0.57
5年目	R 13	0.6496	102.8			0.85	0.55
6年目	R 14	0.6246	102.8			0.85	0.53
7年目	R 15	0.6006	102.8			0.85	0.51
8年目	R 16	0.5775	102.8			0.85	0.49
9年目	R 17	0.5553	102.8			0.85	0.47
10年目	R 18	0.5339	102.8			0.85	0.45
11年目	R 19	0.5134	102.8			0.85	0.43
12年目	R 20	0.4936	102.8			0.85	0.42
13年目	R 21	0.4746	102.8			0.85	0.40
14年目	R 22	0.4564	102.8			0.85	0.39
15年目	R 23	0.4388	102.8			0.85	0.37
16年目	R 24	0.4220	102.8			0.85	0.36
17年目	R 25	0.4057	102.8			0.85	0.34
18年目	R 26	0.3901	102.8			0.85	0.33
19年目	R 27	0.3751	102.8			0.85	0.32
20年目	R 28	0.3607	102.8			0.85	0.30
21年目	R 29	0.3468	102.8			0.85	0.29
22年目	R 30	0.3335	102.8			0.85	0.28
23年目	R 31	0.3207	102.8			0.85	0.27
24年目	R 32	0.3083	102.8			0.85	0.26
25年目	R 33	0.2965	102.8			0.85	0.25
26年目	R 34	0.2851	102.8			0.85	0.24
27年目	R 35	0.2741	102.8			0.85	0.23
28年目	R 36	0.2636	102.8			0.85	0.22
29年目	R 37	0.2534	102.8			0.85	0.21
30年目	R 38	0.2437	102.8			0.85	0.21
31年目	R 39	0.2343	102.8			0.85	0.20
32年目	R 40	0.2253	102.8			0.85	0.19
33年目	R 41	0.2166	102.8			0.85	0.18
34年目	R 42	0.2083	102.8			0.85	0.18
35年目	R 43	0.2003	102.8			0.85	0.17
36年目	R 44	0.1926	102.8			0.85	0.16
37年目	R 45	0.1852	102.8			0.85	0.16
38年目	R 46	0.1780	102.8			0.85	0.15
39年目	R 47	0.1712	102.8			0.85	0.14
40年目	R 48	0.1646	102.8			0.85	0.14
41年目	R 49	0.1583	102.8			0.85	0.13
42年目	R 50	0.1522	102.8			0.85	0.13
43年目	R 51	0.1463	102.8			0.85	0.12
44年目	R 52	0.1407	102.8			0.85	0.12
45年目	R 53	0.1353	102.8			0.85	0.11
46年目	R 54	0.1301	102.8			0.85	0.11
47年目	R 55	0.1251	102.8			0.85	0.11
48年目	R 56	0.1203	102.8			0.85	0.10
49年目	R 57	0.1157	102.8	-9.39	-1.09	0.85	0.10
合計				63.44	68.06	42.27	14.93

単純事業費計		72.83	42.27
--------	--	-------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道4号大衡道路(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.210	4.5	0.93

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-5年目	R 3	0.9615	102.8	15.77	15.16		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	18.61	17.21		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	9.09	8.08		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	8.18	6.99		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	0.91	0.75		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			0.85	0.67
1年目	R 9	0.7599	102.8			0.85	0.64
2年目	R 10	0.7307	102.8			0.85	0.62
3年目	R 11	0.7026	102.8			0.85	0.59
4年目	R 12	0.6756	102.8			0.85	0.57
5年目	R 13	0.6496	102.8			0.85	0.55
6年目	R 14	0.6246	102.8			0.85	0.53
7年目	R 15	0.6006	102.8			0.85	0.51
8年目	R 16	0.5775	102.8			0.85	0.49
9年目	R 17	0.5553	102.8			0.85	0.47
10年目	R 18	0.5339	102.8			0.85	0.45
11年目	R 19	0.5134	102.8			0.85	0.43
12年目	R 20	0.4936	102.8			0.85	0.42
13年目	R 21	0.4746	102.8			0.85	0.40
14年目	R 22	0.4564	102.8			0.85	0.39
15年目	R 23	0.4388	102.8			0.85	0.37
16年目	R 24	0.4220	102.8			0.85	0.36
17年目	R 25	0.4057	102.8			0.85	0.34
18年目	R 26	0.3901	102.8			0.85	0.33
19年目	R 27	0.3751	102.8			0.85	0.32
20年目	R 28	0.3607	102.8			0.85	0.30
21年目	R 29	0.3468	102.8			0.85	0.29
22年目	R 30	0.3335	102.8			0.85	0.28
23年目	R 31	0.3207	102.8			0.85	0.27
24年目	R 32	0.3083	102.8			0.85	0.26
25年目	R 33	0.2965	102.8			0.85	0.25
26年目	R 34	0.2851	102.8			0.85	0.24
27年目	R 35	0.2741	102.8			0.85	0.23
28年目	R 36	0.2636	102.8			0.85	0.22
29年目	R 37	0.2534	102.8			0.85	0.21
30年目	R 38	0.2437	102.8			0.85	0.21
31年目	R 39	0.2343	102.8			0.85	0.20
32年目	R 40	0.2253	102.8			0.85	0.19
33年目	R 41	0.2166	102.8			0.85	0.18
34年目	R 42	0.2083	102.8			0.85	0.18
35年目	R 43	0.2003	102.8			0.85	0.17
36年目	R 44	0.1926	102.8			0.85	0.16
37年目	R 45	0.1852	102.8			0.85	0.16
38年目	R 46	0.1780	102.8			0.85	0.15
39年目	R 47	0.1712	102.8			0.85	0.14
40年目	R 48	0.1646	102.8			0.85	0.14
41年目	R 49	0.1583	102.8			0.85	0.13
42年目	R 50	0.1522	102.8			0.85	0.13
43年目	R 51	0.1463	102.8			0.85	0.12
44年目	R 52	0.1407	102.8			0.85	0.12
45年目	R 53	0.1353	102.8			0.85	0.11
46年目	R 54	0.1301	102.8			0.85	0.11
47年目	R 55	0.1251	102.8			0.85	0.11
48年目	R 56	0.1203	102.8			0.85	0.10
49年目	R 57	0.1157	102.8	-8.23	-0.95	0.85	0.10
合計				44.33	47.24	42.27	14.93

単純事業費計		52.56	42.27
--------	--	-------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	大衡道路(全体)	4	4.5km

■事業費内訳(全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				3,724	
	改良費				2,124	
		土工	m3	121,751	649	切土(21,620m3)、盛土(100,131m3)
		軟弱地盤改良工	m3	36,010	1,199	
		法面工	m2	19,639	42	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	5	ブロック積擁壁
		管渠工	m	156	49	
		函渠工	m			
		排水工	m	13,071	154	
		雑工	式	1	27	機能補償道路等
	橋梁費					
		100m以上	m			
		100m未満	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,346	
		車道舗装	m ²	78,670	1,252	
		歩道舗装	m ²	22,428	94	
	付帯施設費				253	
		交通管理施設工	式	1	253	中央分離帯工、防護柵工、防雪柵
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				3,050	
	用地費		m ²	74,586	939	
		宅地	m ²	23,114	499	
		田畑	m ²	36,010	272	
		山林・原野	m ²	15,462	167	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	2,111	
③	間接経費		式	1	1,125	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				7,900	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	大衡道路(残事業)	4	4.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				2,602	
	改良費				1,484	
		土工	m3	85,076	453	切土(15,108m3)、盛土(69,971m3)
		軟弱地盤改良工	m3	25,163	838	
		法面工	m2	13,723	29	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	4	ブロック積擁壁
		管渠工	m	109	34	
		函渠工	m			
		排水工	m	9,134	108	
		雑工	式	1	19	機能補償道路等
	橋梁費					
		100m以上	m			
		100m未満	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				941	
		車道舗装	m ²	54,972	875	
		歩道舗装	m ²	15,672	66	
	付帯施設費				177	
		交通管理施設工	式	1	177	中央分離帯工、防護柵工、防雪柵
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				2,286	
	用地費		m ²	65,372	823	
		宅地	m ²	20,259	437	
		田畑	m ²	31,561	239	
		山林・原野	m ²	13,552	147	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	1,463	
③	間接経費		式	1	811	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				5,700	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	大衡道路	4	4.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.5	1,100	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,550	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,650	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
日本海沿岸 東北自動車道	酒田～由利本荘	L=56.0km	高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,200	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	861億円	365億円	1,225億円
うち残事業分	430億円	298億円	727億円
基準年における 現在価値 (C)	858億円	134億円	992億円
うち残事業分	380億円	106億円	485億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和3年度、6年度、8年度、9年度			
単年便益 (初年便益)	5.5億円	2.5億円	0.32億円	8.3億円
基準年における 現在価値 (B)	833億円	234億円	49億円	1,117億円
うち残事業分	721億円	182億円	43億円	946億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	125億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.7%
費用便益比（残事業）	1.9
経済的純現在価値（残事業）	460億円
経済的内部収益率（残事業）	9.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	10,200台/日	±10%	0.92 ~ 1.4
事業費	861億円	±10%	1.1 ~ 1.2
事業期間	15,14年	±1,2年	1.05 ~ 1.2

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	10,200台/日	±10%	1.6 ~ 2.4
事業費	430億円	±10%	1.8 ~ 2.1
事業期間	3,6年	±1,2年	1.8 ~ 2.1

交通状況の変化

様式-3①

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘（全体）

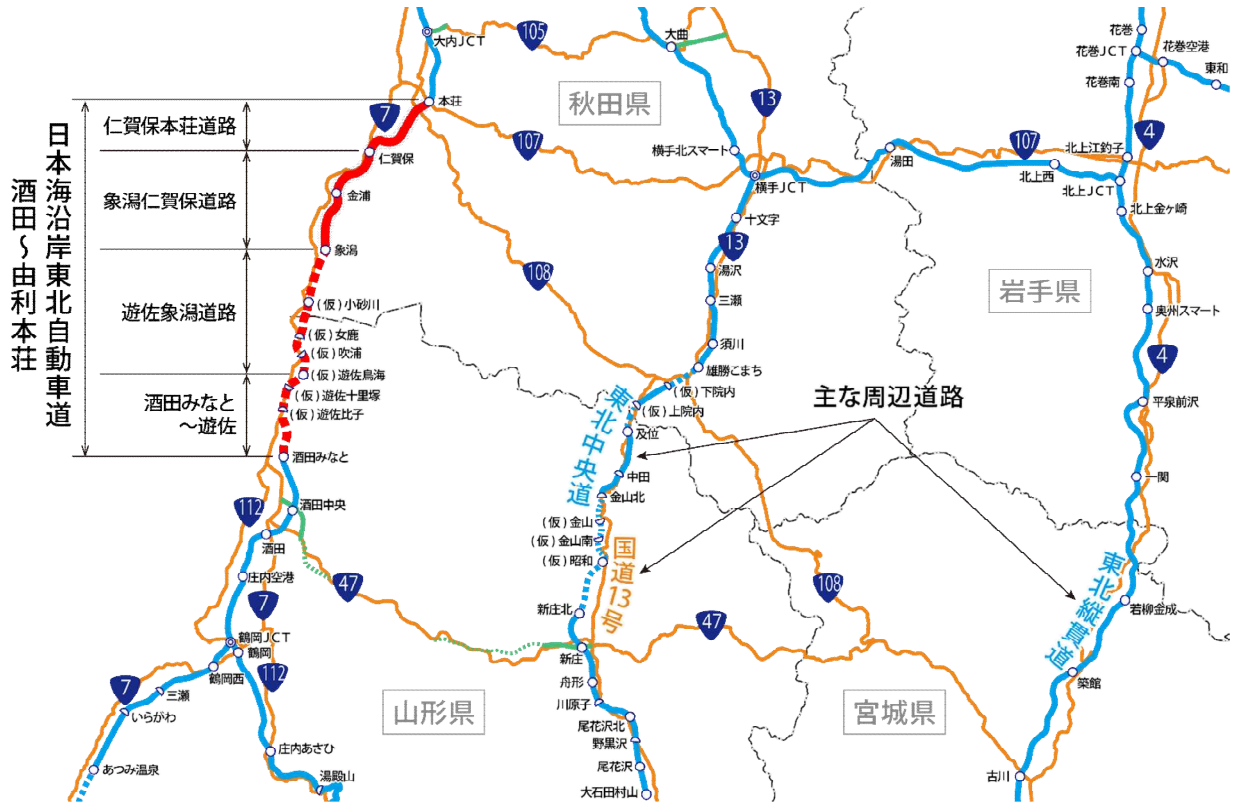
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 ：29.9km	交通量	[台/日]	0	10,200	
	走行時間	[分]	0	23	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	39.10	
②主な周辺道路	並行現道 (国道7号) ：29.7km	交通量	[台/日]	9,600	8,100
		走行時間	[分]	41	40
		走行時間費用	[億円/年]	133.51	77.23
	東北縦貫道 ：87.6km	交通量	[台/日]	20,500	20,200
		走行時間	[分]	59	59
		走行時間費用	[億円/年]	434.40	429.47
	東北中央道 ：39.3km	交通量	[台/日]	9,900	9,000
		走行時間	[分]	33	33
		走行時間費用	[億円/年]	121.93	108.63
	国道13号 ：26.1km	交通量	[台/日]	3,300	2,900
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	27.98	24.81
③その他道路合計 ：8571.6km	走行時間費用	[億円/年]	38,857.71	38,845.52	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：8784.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	39,575.53	39,524.76	50.77

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘（全体）

【図面（①、②）に該当する道路】



交通状況の変化

様式-3①

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘（残事業）

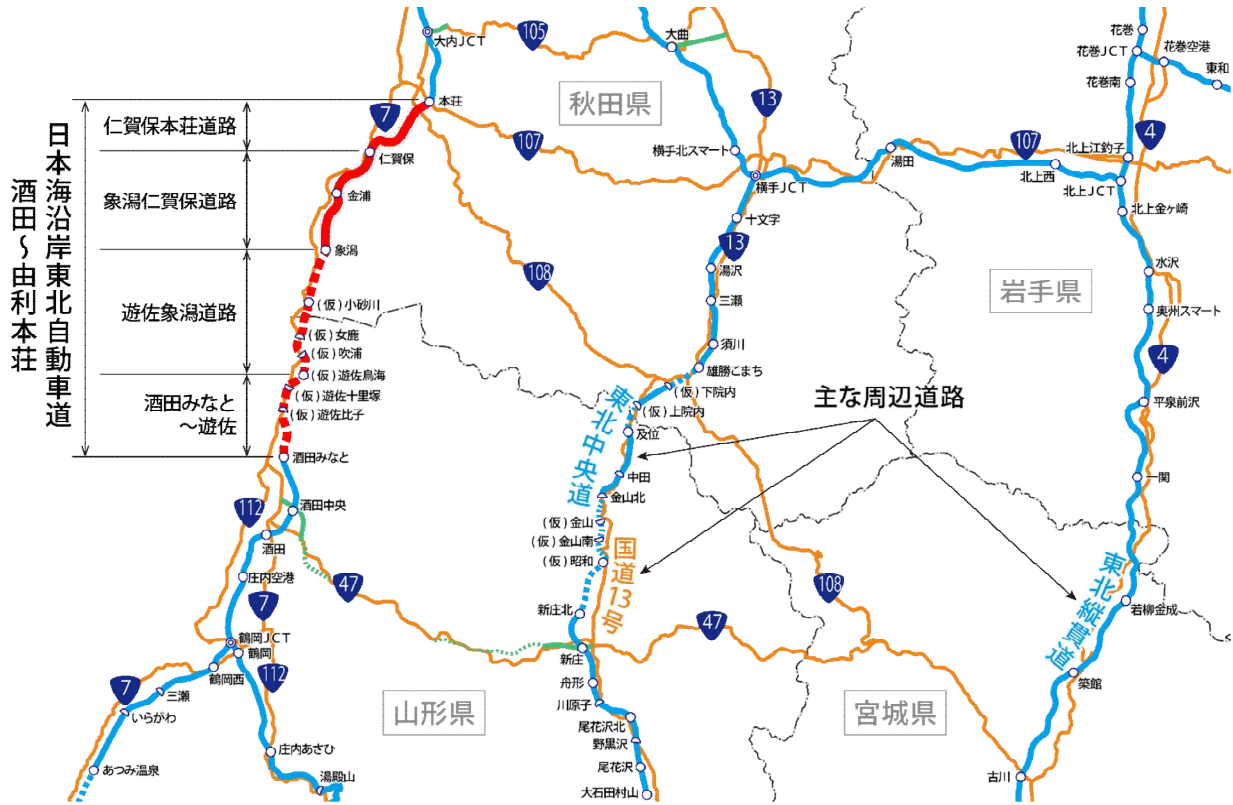
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 ：29.9km	交通量	[台/日]	5,600	10,200	
	走行時間	[分]	4	23	
	走行時間費用	[億円/年]	4.69	39.10	
②主な周辺道路	並行現道 (国道7号) ：29.7km	交通量	[台/日]	9,100	8,100
		走行時間	[分]	40	40
		走行時間費用	[億円/年]	128.33	77.23
	東北縦貫道 ：87.6km	交通量	[台/日]	20,500	20,200
		走行時間	[分]	59	59
		走行時間費用	[億円/年]	432.88	429.47
	東北中央道 ：39.3km	交通量	[台/日]	9,900	9,000
		走行時間	[分]	33	33
		走行時間費用	[億円/年]	121.35	108.63
	国道13号 ：26.1km	交通量	[台/日]	3,300	2,900
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	27.95	24.81
③その他道路合計 ：8571.6km	走行時間費用	[億円/年]	38,854.90	38,845.52	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：8784.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	39,570.10	39,524.76	45.34

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘（残事業）

【図面（①、②）に該当する道路】



費用便益分析の条件

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数.....		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数.....	() 日
	とり止め交通を考慮する.....		<input type="checkbox"/>	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数.....	(69、66) 日	
		当該区間を管轄する酒田国道維持出張所、本荘国道維持出張所の除雪機械稼働日数より設定 (H29～R1平均)		
冬期の走行速度と交通容量の関係.....		走行旅行速度調査より道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し、配分速度を補正		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	その他			
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘(全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	29.9	8.02

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-18年目	H 21	1.5395	103.0	0.99	1.52		
-17年目	H 22	1.4802	101.3	2.90	4.36		
-16年目	H 23	1.4233	99.8	7.34	10.76		
-15年目	H 24	1.3686	99.0	10.73	15.25		
-14年目	H 25	1.3159	99.0	19.37	26.47		
-13年目	H 26	1.2653	101.5	26.05	33.38		
-12年目	H 27	1.2167	103.0	21.94	26.64		
-11年目	H 28	1.1699	102.8	38.22	44.71		
-10年目	H 29	1.1249	102.9	49.20	55.29		
-9年目	H 30	1.0816	102.8	73.46	79.45		
-8年目	R 1	1.0400	102.8	92.10	95.78		
-7年目	R 2	1.0000	102.8	88.73	88.73		
供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	91.52	88.00	1.34	1.28
-5年目	R 4	0.9246	102.8	87.44	80.85	1.34	1.24
-4年目	R 5	0.8890	102.8	82.27	73.14	1.34	1.19
供用開始年次	R 6	0.8548	102.8	70.15	59.96	2.92	2.49
-2年目	R 7	0.8219	102.8	59.77	49.12	2.92	2.40
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8	38.47	30.40	4.70	3.71
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			7.29	5.54
1年目	R 10	0.7307	102.8			7.29	5.33
2年目	R 11	0.7026	102.8			7.29	5.12
3年目	R 12	0.6756	102.8			7.29	4.93
4年目	R 13	0.6496	102.8			7.29	4.74
5年目	R 14	0.6246	102.8			7.29	4.55
6年目	R 15	0.6006	102.8			7.29	4.38
7年目	R 16	0.5775	102.8			7.29	4.21
8年目	R 17	0.5553	102.8			7.29	4.05
9年目	R 18	0.5339	102.8			7.29	3.89
10年目	R 19	0.5134	102.8			7.29	3.74
11年目	R 20	0.4936	102.8			7.29	3.60
12年目	R 21	0.4746	102.8			7.29	3.46
13年目	R 22	0.4564	102.8			7.29	3.33
14年目	R 23	0.4388	102.8			7.29	3.20
15年目	R 24	0.4220	102.8			7.29	3.08
16年目	R 25	0.4057	102.8			7.29	2.96
17年目	R 26	0.3901	102.8			7.29	2.84
18年目	R 27	0.3751	102.8			7.29	2.73
19年目	R 28	0.3607	102.8			7.29	2.63
20年目	R 29	0.3468	102.8			7.29	2.53
21年目	R 30	0.3335	102.8			7.29	2.43
22年目	R 31	0.3207	102.8			7.29	2.34
23年目	R 32	0.3083	102.8			7.29	2.25
24年目	R 33	0.2965	102.8			7.29	2.16
25年目	R 34	0.2851	102.8			7.29	2.08
26年目	R 35	0.2741	102.8			7.29	2.00
27年目	R 36	0.2636	102.8			7.29	1.92
28年目	R 37	0.2534	102.8			7.29	1.85
29年目	R 38	0.2437	102.8			7.29	1.78
30年目	R 39	0.2343	102.8			7.29	1.71
31年目	R 40	0.2253	102.8			7.29	1.64
32年目	R 41	0.2166	102.8			7.29	1.58
33年目	R 42	0.2083	102.8			7.29	1.52
34年目	R 43	0.2003	102.8			7.29	1.46
35年目	R 44	0.1926	102.8			7.29	1.40
36年目	R 45	0.1852	102.8			7.29	1.35
37年目	R 46	0.1780	102.8			7.29	1.30
38年目	R 47	0.1712	102.8			7.29	1.25
39年目	R 48	0.1646	102.8			7.29	1.20
40年目	R 49	0.1583	102.8			7.29	1.15
41年目	R 50	0.1522	102.8			7.29	1.11
42年目	R 51	0.1463	102.8			7.29	1.07
43年目	R 52	0.1407	102.8	-11.07	-1.56	7.29	1.03
44年目	R 53	0.1353	102.8			5.95	0.81
45年目	R 54	0.1301	102.8			5.95	0.77
46年目	R 55	0.1251	102.8	-11.23	-1.40	5.95	0.74
47年目	R 56	0.1203	102.8			4.37	0.53
48年目	R 57	0.1157	102.8	-9.30	-1.08	4.37	0.51
49年目	R 58	0.1112	102.8	-19.96	-2.22	2.59	0.29
合計				809.09	857.55	364.55	134.38

単純事業費計	860.65	364.55
--------	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.27	24.4	6.55

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在価値	単価	現在価値
供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	91.52	88.00		
-5年目	R 4	0.9246	102.8	87.44	80.85		
-4年目	R 5	0.8890	102.8	82.27	73.14		
供用開始年次	R 6	0.8548	102.8	70.15	59.96	1.58	1.35
-2年目	R 7	0.8219	102.8	59.77	49.12	1.58	1.30
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8	38.47	30.40	3.36	2.66
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			5.95	4.52
1年目	R 10	0.7307	102.8			5.95	4.35
2年目	R 11	0.7026	102.8			5.95	4.18
3年目	R 12	0.6756	102.8			5.95	4.02
4年目	R 13	0.6496	102.8			5.95	3.87
5年目	R 14	0.6246	102.8			5.95	3.72
6年目	R 15	0.6006	102.8			5.95	3.58
7年目	R 16	0.5775	102.8			5.95	3.44
8年目	R 17	0.5553	102.8			5.95	3.31
9年目	R 18	0.5339	102.8			5.95	3.18
10年目	R 19	0.5134	102.8			5.95	3.06
11年目	R 20	0.4936	102.8			5.95	2.94
12年目	R 21	0.4746	102.8			5.95	2.83
13年目	R 22	0.4564	102.8			5.95	2.72
14年目	R 23	0.4388	102.8			5.95	2.61
15年目	R 24	0.4220	102.8			5.95	2.51
16年目	R 25	0.4057	102.8			5.95	2.42
17年目	R 26	0.3901	102.8			5.95	2.32
18年目	R 27	0.3751	102.8			5.95	2.23
19年目	R 28	0.3607	102.8			5.95	2.15
20年目	R 29	0.3468	102.8			5.95	2.07
21年目	R 30	0.3335	102.8			5.95	1.99
22年目	R 31	0.3207	102.8			5.95	1.91
23年目	R 32	0.3083	102.8			5.95	1.84
24年目	R 33	0.2965	102.8			5.95	1.77
25年目	R 34	0.2851	102.8			5.95	1.70
26年目	R 35	0.2741	102.8			5.95	1.63
27年目	R 36	0.2636	102.8			5.95	1.57
28年目	R 37	0.2534	102.8			5.95	1.51
29年目	R 38	0.2437	102.8			5.95	1.45
30年目	R 39	0.2343	102.8			5.95	1.40
31年目	R 40	0.2253	102.8			5.95	1.34
32年目	R 41	0.2166	102.8			5.95	1.29
33年目	R 42	0.2083	102.8			5.95	1.24
34年目	R 43	0.2003	102.8			5.95	1.19
35年目	R 44	0.1926	102.8			5.95	1.15
36年目	R 45	0.1852	102.8			5.95	1.10
37年目	R 46	0.1780	102.8			5.95	1.06
38年目	R 47	0.1712	102.8			5.95	1.02
39年目	R 48	0.1646	102.8			5.95	0.98
40年目	R 49	0.1583	102.8			5.95	0.94
41年目	R 50	0.1522	102.8			5.95	0.91
42年目	R 51	0.1463	102.8			5.95	0.87
43年目	R 52	0.1407	102.8			5.95	0.84
44年目	R 53	0.1353	102.8			5.95	0.81
45年目	R 54	0.1301	102.8			5.95	0.77
46年目	R 55	0.1251	102.8	-5.26	-0.66	5.95	0.74
47年目	R 56	0.1203	102.8			4.37	0.53
48年目	R 57	0.1157	102.8	-0.45	-0.05	4.37	0.51
49年目	R 58	0.1112	102.8	-9.83	-1.09	2.59	0.29
合計				414.08	379.67	297.73	105.69

単純事業費計	429.62	297.73
--------	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘(全体)

Table with columns: 年度(標準年), 年次, 走行台車中の年次別伸び率, GDP, 割引率, 走行時間短縮便益(億円), 走行経費減少便益(億円), 事故減少便益(億円), 合計. It includes sub-columns for vehicle types and monetary values.

便益の現在価値算定表

箇所名：日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘(残事業)

Table with columns for Year (年度), Quarter (年次), and various benefit metrics including GDP, interest rate, and time savings. The table is organized into sections for 'Annual Average' (年度平均), 'Quarterly' (年次), and 'Total' (合計) values.

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸 東北自動車道	酒田～由利本荘	2	29.9km

■事業費内訳(全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				73,734	
	改良費				35,624	
		土工	m ³	7,029,942	15,965	切土(2,091,863m ³)、盛土(4,938,079m ³)
		軟弱地盤改良工	m	2,736,400	9,399	
		法面工	m ²	741,177	1,778	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	441	
		管渠工	m	4,243	365	
		函渠工	m	2,461	2,173	
		排水工	m	28,432	2,402	
		中央分離帯工	m	17,176	673	
		雑工	式	1	2,427	跨道橋、付替え道路、機能補償道路等
	橋梁費				18,210	
		100m以上	m	1,633	11,483	7橋
		100m未満	m	618	6,727	15橋、こ道橋4箇所
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				6,977	
		IC	箇所	7	6,977	
		JCT	箇所			
	舗装費				6,498	
		車道舗装	m ²	382,052	6,498	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				6,425	
		交通管理施設工	式	1	6,425	標識工、防護柵工、防雪柵工、道路情報板等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				6,959	
	用地費		m ²	1,573,078	5,156	
		宅地	m ²	16,749	419	
		田畑	m ²	741,498	3,205	
		山林・原野	m ²	814,831	1,533	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	1,803	
③	間接経費		式	1	12,807	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				93,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸 東北自動車道	酒田～由利本荘	2	24.4km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				40,372	
	改良費				20,165	
		土工	m ³	4,819,189	10,617	切土(1,571,454m ³)、盛土(3,247,735m ³)
		軟弱地盤改良工	m	2,733,679	3,167	
		法面工	m ²	563,777	1,114	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	291	
		管渠工	m	3,743	265	
		函渠工	m	2,167	1,115	
		排水工	m	20,876	1,585	
		中央分離帯工	m	17,176	673	
		雑工	式	1	1,339	跨道橋、付替え道路、機能補償道路等
	橋梁費				7,199	
		100m以上	m	1,341	4,189	7橋
		100m未満	m	617	3,010	12橋、こ道橋1箇所
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				3,986	
		IC	箇所	5	3,986	
		JCT	箇所			
	舗装費				4,813	
		車道舗装	m ²	313,834	4,813	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				4,209	
		交通管理施設工	式	1	4,209	標識工、防護柵工、防雪柵工、道路情報板等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				2,156	
	用地費		m ²	768,958	1,554	
		宅地	m ²	13,771	325	
		田畑	m ²	251,399	757	
		山林・原野	m ²	503,788	473	
		その他	m ²			
	補償費		式	2	602	
③	間接経費		式	2	4,573	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				47,101	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸東北自動車道	酒田～由利本荘	2	29.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	29.9	13,700	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	26,400	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			40,100	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸東北自動車道	酒田～由利本荘	2	24.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	24.4	11,000	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	21,750	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			32,750	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
日本海沿岸 東北自動車道	酒田みなと ～遊佐	L=12.0km	直轄高速	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,600	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	334億円	141億円	475億円
うち残事業	68億円	79億円	147億円
基準年における 現在価値 (C)	366億円	58億円	424億円
うち残事業	64億円	30億円	94億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和3年度、令和6年度			
単年便益 (初年便益)	9.3億円	4.0億円	0.59億円	14億円
基準年における 現在価値 (B)	381億円	124億円	31億円	536億円
うち残事業	204億円	47億円	19億円	270億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	112億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.4%
費用便益比（残事業）	2.9
経済的純現在価値（残事業）	176億円
経済的内部収益率（残事業）	16.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	10,600台/日	±10%	1.1~1.4
事業費	360億円	±10%	1.2~1.3
事業期間	15年	±1年	1.2~1.3

⑤ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	12,200台/日	±10%	2.4~3.3
事業費	75億円	±10%	2.7~3.1
事業期間	3年	±1年	2.8~3.0

交通状況の変化

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐（全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] :12.00km	交通量	[台/日]	0	10,600	
	走行時間	[分]	0	9	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	19.66	
②主な周辺道路	一般国道 7号 :10.83km	交通量	[台/日]	10,200	4,200
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	29.88	10.74
	一般国道 345号 :11.26km	交通量	[台/日]	3,400	3,000
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	12.44	10.53
	(主)酒 田遊佐線 :5.50km	交通量	[台/日]	3,800	2,300
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	7.14	4.21
	(県)吹 浦酒田線 :10.73km	交通量	[台/日]	3,600	2,600
		走行時間	[分]	20	18
		走行時間費用	[億円/年]	12.61	7.30
③その他道路合計 :4131.35km	走行時間費用	[億円/年]	12,931.55	12,920.46	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:4181.67km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,993.62	12,972.90	20.72

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐（全体）



交通状況の変化

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] :12.00km	交通量	[台/日]	7,100	10,600	
	走行時間	[分]	4	9	
	走行時間費用	[億円/年]	5.93	19.66	
②主な周 辺道路	一般国道 7号 :10.83km	交通量	[台/日]	9,500	4,200
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	28.48	10.74
	一般国道 345号 :11.26km	交通量	[台/日]	3,300	3,000
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	11.84	10.53
	(主)酒 田遊佐線 :5.50km	交通量	[台/日]	3,100	2,300
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	5.52	4.21
	(県)吹 浦酒田線 :10.73km	交通量	[台/日]	3,100	2,600
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	9.34	7.30
③その他道路合計 :4131.35km	走行時間費用	[億円/年]	12,923.49	12,920.46	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:4181.67km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,984.60	12,972.90	11.70

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐（残事業）



費用便益分析の条件

事業名：日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐（全体・残事業）

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 当該区間を管轄する酒田国道維持出張所の除雪稼働日数より設定(H29～R1平均)	(69) 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 走行速度調査より道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し配分速度を補正	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	その他			
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名: 日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐(全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.268		12.00	3.21
-12年目	H 21	1.5395	103.0	0.99	1.52		
-11年目	H 22	1.4802	101.3	2.90	4.36		
-10年目	H 23	1.4233	99.8	7.34	10.76		
-9年目	H 24	1.3686	99.0	10.73	15.25		
-8年目	H 25	1.3159	99.0	18.42	25.17		
-7年目	H 26	1.2653	101.5	21.42	27.45		
-6年目	H 27	1.2167	103.0	17.19	20.87		
-5年目	H 28	1.1699	102.8	26.59	31.11		
-4年目	H 29	1.1249	102.9	22.53	25.32		
-3年目	H 30	1.0816	102.8	45.52	49.23		
-2年目	R 1	1.0400	102.8	50.90	52.94		
-1年目	R 2	1.0000	102.8	40.95	40.95		
供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	35.65	34.28	1.34	1.29
1年目	R 4	0.9246	102.8	20.37	18.83	1.34	1.24
2年目	R 5	0.8890	102.8	12.25	10.89	1.34	1.19
3年目	R 6	0.8548	102.8			2.92	2.50
4年目	R 7	0.8219	102.8			2.92	2.40
5年目	R 8	0.7903	102.8			2.92	2.31
6年目	R 9	0.7599	102.8			2.92	2.22
7年目	R 10	0.7307	102.8			2.92	2.13
8年目	R 11	0.7026	102.8			2.92	2.05
9年目	R 12	0.6756	102.8			2.92	1.97
10年目	R 13	0.6496	102.8			2.92	1.90
11年目	R 14	0.6246	102.8			2.92	1.82
12年目	R 15	0.6006	102.8			2.92	1.75
13年目	R 16	0.5775	102.8			2.92	1.69
14年目	R 17	0.5553	102.8			2.92	1.62
15年目	R 18	0.5339	102.8			2.92	1.56
16年目	R 19	0.5134	102.8			2.92	1.50
17年目	R 20	0.4936	102.8			2.92	1.44
18年目	R 21	0.4746	102.8			2.92	1.39
19年目	R 22	0.4564	102.8			2.92	1.33
20年目	R 23	0.4388	102.8			2.92	1.28
21年目	R 24	0.4220	102.8			2.92	1.23
22年目	R 25	0.4057	102.8			2.92	1.18
23年目	R 26	0.3901	102.8			2.92	1.14
24年目	R 27	0.3751	102.8			2.92	1.10
25年目	R 28	0.3607	102.8			2.92	1.05
26年目	R 29	0.3468	102.8			2.92	1.01
27年目	R 30	0.3335	102.8			2.92	0.97
28年目	R 31	0.3207	102.8			2.92	0.94
29年目	R 32	0.3083	102.8			2.92	0.90
30年目	R 33	0.2965	102.8			2.92	0.87
31年目	R 34	0.2851	102.8			2.92	0.83
32年目	R 35	0.2741	102.8			2.92	0.80
33年目	R 36	0.2636	102.8			2.92	0.77
34年目	R 37	0.2534	102.8			2.92	0.74
35年目	R 38	0.2437	102.8			2.92	0.71
36年目	R 39	0.2343	102.8			2.92	0.68
37年目	R 40	0.2253	102.8			2.92	0.66
38年目	R 41	0.2166	102.8			2.92	0.63
39年目	R 42	0.2083	102.8			2.92	0.61
40年目	R 43	0.2003	102.8			2.92	0.58
41年目	R 44	0.1926	102.8			2.92	0.56
42年目	R 45	0.1852	102.8			2.92	0.54
43年目	R 46	0.1780	102.8			2.92	0.52
44年目	R 47	0.1712	102.8			2.92	0.50
45年目	R 48	0.1646	102.8			2.92	0.48
46年目	R 49	0.1583	102.8			2.92	0.46
47年目	R 50	0.1522	102.8			2.92	0.44
48年目	R 51	0.1463	102.8			2.92	0.43
49年目	R 52	0.1407	102.8	-22.30	-3.14	2.92	0.41
合計				311.45	365.79	141.22	58.32

単純事業費計	333.75	141.22
--------	--------	--------

注) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.268	6.50	1.74

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	35.65	34.28		
-2年目	R 4	0.9246	102.8	20.37	18.83		
-1年目	R 5	0.8890	102.8	12.25	10.89		
供用開始年次	R 6	0.8548	102.8			1.58	1.35
1年目	R 7	0.8219	102.8			1.58	1.30
2年目	R 8	0.7903	102.8			1.58	1.25
3年目	R 9	0.7599	102.8			1.58	1.20
4年目	R 10	0.7307	102.8			1.58	1.16
5年目	R 11	0.7026	102.8			1.58	1.11
6年目	R 12	0.6756	102.8			1.58	1.07
7年目	R 13	0.6496	102.8			1.58	1.03
8年目	R 14	0.6246	102.8			1.58	0.99
9年目	R 15	0.6006	102.8			1.58	0.95
10年目	R 16	0.5775	102.8			1.58	0.91
11年目	R 17	0.5553	102.8			1.58	0.88
12年目	R 18	0.5339	102.8			1.58	0.84
13年目	R 19	0.5134	102.8			1.58	0.81
14年目	R 20	0.4936	102.8			1.58	0.78
15年目	R 21	0.4746	102.8			1.58	0.75
16年目	R 22	0.4564	102.8			1.58	0.72
17年目	R 23	0.4388	102.8			1.58	0.69
18年目	R 24	0.4220	102.8			1.58	0.67
19年目	R 25	0.4057	102.8			1.58	0.64
20年目	R 26	0.3901	102.8			1.58	0.62
21年目	R 27	0.3751	102.8			1.58	0.59
22年目	R 28	0.3607	102.8			1.58	0.57
23年目	R 29	0.3468	102.8			1.58	0.55
24年目	R 30	0.3335	102.8			1.58	0.53
25年目	R 31	0.3207	102.8			1.58	0.51
26年目	R 32	0.3083	102.8			1.58	0.49
27年目	R 33	0.2965	102.8			1.58	0.47
28年目	R 34	0.2851	102.8			1.58	0.45
29年目	R 35	0.2741	102.8			1.58	0.43
30年目	R 36	0.2636	102.8			1.58	0.42
31年目	R 37	0.2534	102.8			1.58	0.40
32年目	R 38	0.2437	102.8			1.58	0.39
33年目	R 39	0.2343	102.8			1.58	0.37
34年目	R 40	0.2253	102.8			1.58	0.36
35年目	R 41	0.2166	102.8			1.58	0.34
36年目	R 42	0.2083	102.8			1.58	0.33
37年目	R 43	0.2003	102.8			1.58	0.32
38年目	R 44	0.1926	102.8			1.58	0.30
39年目	R 45	0.1852	102.8			1.58	0.29
40年目	R 46	0.1780	102.8			1.58	0.28
41年目	R 47	0.1712	102.8			1.58	0.27
42年目	R 48	0.1646	102.8			1.58	0.26
43年目	R 49	0.1583	102.8			1.58	0.25
44年目	R 50	0.1522	102.8			1.58	0.24
45年目	R 51	0.1463	102.8			1.58	0.23
46年目	R 52	0.1407	102.8			1.58	0.22
47年目	R 53	0.1353	102.8			1.58	0.21
48年目	R 54	0.1301	102.8			1.58	0.21
49年目	R 55	0.1251	102.8	-5.26	-0.66	1.58	0.20
合計				63.01	64.00	79.09	30.20

単純事業費計	68.27	79.09
--------	-------	-------

注) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸 東北自動車道	酒田みなと～遊佐	2	12.0km

■事業費内訳(全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				27,174	
	改良費				10,291	
		土工	m ³	2,829,284	2,883	切土(747,551m ³)、盛土(2,081,733m ³)
		軟弱地盤改良工	m	2,854	4,012	
		法面工	m ²	282,894	670	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	341	
		管渠工	m	1,432	98	
		函渠工	m	917	983	
		排水工	m	11,909	519	
		雑工	式	1	784	機能補償道路等
	橋梁費				7,522	
		100m以上	m	552	3,178	2橋
		100m未満	m	332	4,344	7橋、こ道橋4箇所
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				3,525	
		IC	箇所	4	3,525	平面Y型(1)、ダイヤモンド型(3)
		JCT	箇所			
	舗装費				2,766	
		車道舗装	m ²	148,839	2,766	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				3,070	
		交通管理施設工	式	1	3,070	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				3,700	
	用地費		m ²	639,257	2,230	
		宅地	m ²	8,380	210	
		田畑	m ²	396,460	1,552	
		山林・原野	m ²	234,417	469	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	1,470	
③	間接経費		式	1	5,126	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				36,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸 東北自動車道	酒田みなと～遊佐	2	6.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				5,497	
	改良費				1,561	
		土工	m ³	720,151	495	切土(233,762m ³)、盛土(486,389m ³)
		軟弱地盤改良工	m	133	21	
		法面工	m ²	117,894	173	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	191	
		管渠工	m	932	64	
		函渠工	m	857	211	
		排水工	m	6,009	262	
		雑工	式	1	145	機能補償道路等
	橋梁費				1,467	
		100m以上	m	260	840	1橋
		100m未満	m	332	627	7橋、公道橋1箇所
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				534	
		IC	箇所	2	534	ダイヤモンド型ハーフ(2)
		JCT	箇所			
	舗装費				1,081	
		車道舗装	m ²	80,621	1,081	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				854	
		交通管理施設工	式	1	854	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				941	
	用地費		m ²	171,834	526	
		宅地	m ²	5,402	135	
		田畑	m ²	98,580	274	
		山林・原野	m ²	67,852	118	
		その他	m ²	0	0	
	補償費		式	1	415	
③	間接経費		式	1	1,018	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				7,456	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸東北自動車道	酒田みなと～遊佐	2	12.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	12.0	5,642	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	9,892	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			15,534	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸東北自動車道	酒田みなと～遊佐	2	6.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.5	3,150	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,550	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,700	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道7号	遊佐象潟道路	L=17.9km	一般二次	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,000	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	527億円	216億円	743億円
うち残事業分	361億円	216億円	577億円
基準年における 現在価値 (C)	492億円	75億円	567億円
うち残事業分	316億円	75億円	391億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和8年度、令和9年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	5.3億円	1.3億円	25億円
基準年における 現在価値 (B)	607億円	164億円	35億円	806億円
うち残事業分	607億円	164億円	35億円	806億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	239億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.2%
費用便益比（残事業）	2.1
経済的純現在価値（残事業）	414億円
経済的内部収益率（残事業）	9.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	10,000台/日	±10%	1.1 ~ 1.8
事業費	527億円	±10%	1.3 ~ 1.5
事業期間	14年	±2年	1.3 ~ 1.5

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	10,000台/日	±10%	1.6 ~ 2.6
事業費	361億円	±10%	1.9 ~ 2.2
事業期間	6年	±2年	1.9 ~ 2.2

交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：一般国道7号 遊佐象潟道路（全体・残事業）

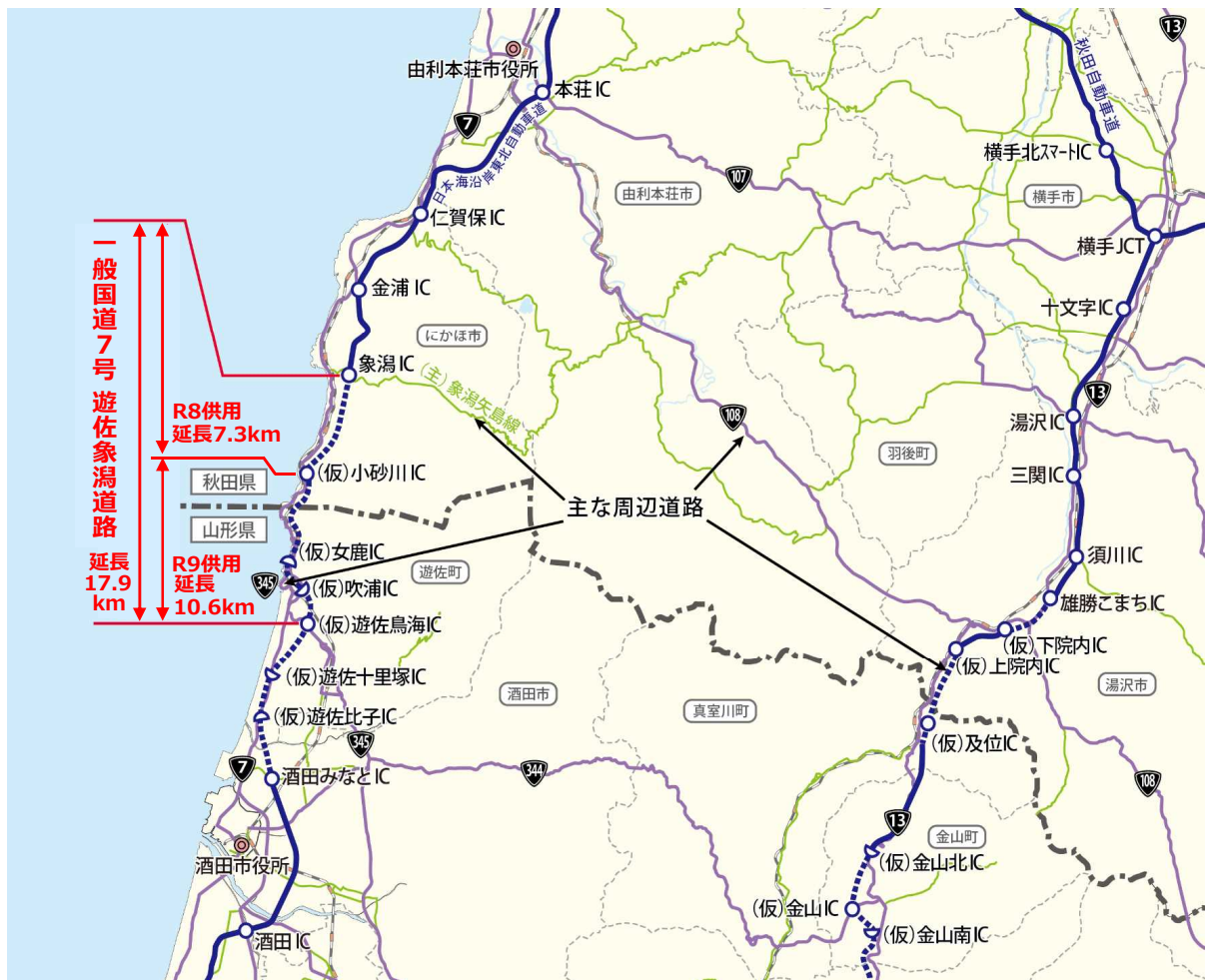
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 17.9km	交通量	[台/日]	0	10,000	
	走行時間	[分]	0	13	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	26.27	
②主な周辺道路	並行現道 (国道7号) : 18.7km	交通量	[台/日]	8,500	1,000
		走行時間	[分]	25	22
		走行時間費用	[億円/年]	43.27	3.98
	(主)象潟 矢島線 : 3.0km	交通量	[台/日]	3,900	1,800
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	3.64	1.46
	国道108号 : 25.3km	交通量	[台/日]	3,000	1,900
		走行時間	[分]	42	42
		走行時間費用	[億円/年]	24.82	15.12
	東北中央道 : 20.3km	交通量	[台/日]	6,700	5,400
		走行時間	[分]	17	16
		走行時間費用	[億円/年]	24.27	18.22
	国道345号 : 4.7km	交通量	[台/日]	700	700
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	1.06	0.96
③その他道路合計 : 8694.3km	走行時間費用	[億円/年]	22,567.80	22,559.97	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 8784.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	22,664.86	22,625.98	38.88

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道7号 遊佐象潟道路（全体・残事業）

【図面（①、②）に該当する道路】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道7号 遊佐象潟道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	(66) 日 <small>当該区間を管轄する本荘・酒田国道維持出張所の除雪機械稼働日数より設定(H29～R1平均)</small>
			冬期の走行速度と交通容量の関係	<small>走行旅行速度調査より道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し、配分速度を補正</small>
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	その他			
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純価値の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道7号 遊佐象潟道路(全体)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.27	17.9	4.81

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-14年目	H 25	1.3159	99.0	0.95	1.30		
-13年目	H 26	1.2653	101.5	4.63	5.93		
-12年目	H 27	1.2167	103.0	4.75	5.77		
-11年目	H 28	1.1699	102.8	11.63	13.61		
-10年目	H 29	1.1249	102.9	26.67	29.97		
-9年目	H 30	1.0816	102.8	27.94	30.22		
-8年目	R 1	1.0400	102.8	41.20	42.85		
-7年目	R 2	1.0000	102.8	47.78	47.78		
-6年目	R 3	0.9615	102.8	55.87	53.72		
-5年目	R 4	0.9246	102.8	67.07	62.01		
-4年目	R 5	0.8890	102.8	70.02	62.25		
-3年目	R 6	0.8548	102.8	70.15	59.96		
-2年目	R 7	0.8219	102.8	59.77	49.12		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8	38.47	30.40	1.78	1.41
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			4.37	3.32
2年目	R 10	0.7307	102.8			4.37	3.20
3年目	R 11	0.7026	102.8			4.37	3.07
4年目	R 12	0.6756	102.8			4.37	2.95
5年目	R 13	0.6496	102.8			4.37	2.84
6年目	R 14	0.6246	102.8			4.37	2.73
7年目	R 15	0.6006	102.8			4.37	2.63
8年目	R 16	0.5775	102.8			4.37	2.53
9年目	R 17	0.5553	102.8			4.37	2.43
10年目	R 18	0.5339	102.8			4.37	2.33
11年目	R 19	0.5134	102.8			4.37	2.24
12年目	R 20	0.4936	102.8			4.37	2.16
13年目	R 21	0.4746	102.8			4.37	2.08
14年目	R 22	0.4564	102.8			4.37	2.00
15年目	R 23	0.4388	102.8			4.37	1.92
16年目	R 24	0.4220	102.8			4.37	1.85
17年目	R 25	0.4057	102.8			4.37	1.77
18年目	R 26	0.3901	102.8			4.37	1.71
19年目	R 27	0.3751	102.8			4.37	1.64
20年目	R 28	0.3607	102.8			4.37	1.58
21年目	R 29	0.3468	102.8			4.37	1.52
22年目	R 30	0.3335	102.8			4.37	1.46
23年目	R 31	0.3207	102.8			4.37	1.40
24年目	R 32	0.3083	102.8			4.37	1.35
25年目	R 33	0.2965	102.8			4.37	1.30
26年目	R 34	0.2851	102.8			4.37	1.25
27年目	R 35	0.2741	102.8			4.37	1.20
28年目	R 36	0.2636	102.8			4.37	1.15
29年目	R 37	0.2534	102.8			4.37	1.11
30年目	R 38	0.2437	102.8			4.37	1.07
31年目	R 39	0.2343	102.8			4.37	1.02
32年目	R 40	0.2253	102.8			4.37	0.99
33年目	R 41	0.2166	102.8			4.37	0.95
34年目	R 42	0.2083	102.8			4.37	0.91
35年目	R 43	0.2003	102.8			4.37	0.88
36年目	R 44	0.1926	102.8			4.37	0.84
37年目	R 45	0.1852	102.8			4.37	0.81
38年目	R 46	0.1780	102.8			4.37	0.78
39年目	R 47	0.1712	102.8			4.37	0.75
40年目	R 48	0.1646	102.8			4.37	0.72
41年目	R 49	0.1583	102.8			4.37	0.69
42年目	R 50	0.1522	102.8			4.37	0.67
43年目	R 51	0.1463	102.8			4.37	0.64
44年目	R 52	0.1407	102.8			4.37	0.62
45年目	R 53	0.1353	102.8			4.37	0.59
46年目	R 54	0.1301	102.8			4.37	0.57
47年目	R 55	0.1251	102.8			4.37	0.55
48年目	R 56	0.1203	102.8			4.37	0.53
49年目	R 57	0.1157	102.8			4.37	0.51
合計				497.64	491.50	216.05	75.22

単純事業費計	526.90	216.05
--------	--------	--------

注1)事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純価値の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道7号 遊佐象潟道路(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.27	17.9	4.81

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-6年目	R 3	0.9615	102.8	55.87	53.72		
-5年目	R 4	0.9246	102.8	67.07	62.01		
-4年目	R 5	0.8890	102.8	70.02	62.25		
-3年目	R 6	0.8548	102.8	70.15	59.96		
-2年目	R 7	0.8219	102.8	59.77	49.12		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8	38.47	30.40	1.78	1.41
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			4.37	3.32
2年目	R 10	0.7307	102.8			4.37	3.20
3年目	R 11	0.7026	102.8			4.37	3.07
4年目	R 12	0.6756	102.8			4.37	2.95
5年目	R 13	0.6496	102.8			4.37	2.84
6年目	R 14	0.6246	102.8			4.37	2.73
7年目	R 15	0.6006	102.8			4.37	2.63
8年目	R 16	0.5775	102.8			4.37	2.53
9年目	R 17	0.5553	102.8			4.37	2.43
10年目	R 18	0.5339	102.8			4.37	2.33
11年目	R 19	0.5134	102.8			4.37	2.24
12年目	R 20	0.4936	102.8			4.37	2.16
13年目	R 21	0.4746	102.8			4.37	2.08
14年目	R 22	0.4564	102.8			4.37	2.00
15年目	R 23	0.4388	102.8			4.37	1.92
16年目	R 24	0.4220	102.8			4.37	1.85
17年目	R 25	0.4057	102.8			4.37	1.77
18年目	R 26	0.3901	102.8			4.37	1.71
19年目	R 27	0.3751	102.8			4.37	1.64
20年目	R 28	0.3607	102.8			4.37	1.58
21年目	R 29	0.3468	102.8			4.37	1.52
22年目	R 30	0.3335	102.8			4.37	1.46
23年目	R 31	0.3207	102.8			4.37	1.40
24年目	R 32	0.3083	102.8			4.37	1.35
25年目	R 33	0.2965	102.8			4.37	1.30
26年目	R 34	0.2851	102.8			4.37	1.25
27年目	R 35	0.2741	102.8			4.37	1.20
28年目	R 36	0.2636	102.8			4.37	1.15
29年目	R 37	0.2534	102.8			4.37	1.11
30年目	R 38	0.2437	102.8			4.37	1.07
31年目	R 39	0.2343	102.8			4.37	1.02
32年目	R 40	0.2253	102.8			4.37	0.99
33年目	R 41	0.2166	102.8			4.37	0.95
34年目	R 42	0.2083	102.8			4.37	0.91
35年目	R 43	0.2003	102.8			4.37	0.88
36年目	R 44	0.1926	102.8			4.37	0.84
37年目	R 45	0.1852	102.8			4.37	0.81
38年目	R 46	0.1780	102.8			4.37	0.78
39年目	R 47	0.1712	102.8			4.37	0.75
40年目	R 48	0.1646	102.8			4.37	0.72
41年目	R 49	0.1583	102.8			4.37	0.69
42年目	R 50	0.1522	102.8			4.37	0.67
43年目	R 51	0.1463	102.8			4.37	0.64
44年目	R 52	0.1407	102.8			4.37	0.62
45年目	R 53	0.1353	102.8			4.37	0.59
46年目	R 54	0.1301	102.8			4.37	0.57
47年目	R 55	0.1251	102.8			4.37	0.55
48年目	R 56	0.1203	102.8			4.37	0.53
49年目	R 57	0.1157	102.8	-10.28	-1.19	4.37	0.51
合計				351.07	316.27	216.05	75.22

単純事業費計	361.35	216.05
--------	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸 東北自動車道	一般国道7号 遊佐象潟道路	2	17.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				46,560	
	改良費				25,333	
		土工	m ³	4,200,658	13,082	切土(1,344,312m ³)、盛土(2,856,346m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	2,733,546	5,387	
		法面工	m ²	458,283	1,108	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	100	
		管渠工	m	2,811	267	
		函渠工	m	1,544	1,190	
		排水工	m	16,523	1,883	
		中央分離帯工	m	17,175	673	
		雑工	式	1	1,643	跨道橋、付替え道路、機能補償道路等
	橋梁費				10,688	
		100m以上	m	1,081	8,305	5橋
		100m未満	m	286	2,383	8橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				3,452	
		IC	箇所	3	3,452	ハーフ(2)、フル(1)
		JCT	箇所			
	舗装費				3,732	
		車道舗装	m ²	233,213	3,732	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				3,355	
		交通管理施設工	式	1	3,355	標識工、防護柵工、防雪柵工、道路情報板等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				3,259	
	用地費		m ²	933,821	2,926	
		宅地	m ²	8,369	209	
		田畑	m ²	345,038	1,653	
		山林・原野	m ²	580,414	1,064	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	333	
③	間接経費		式	1	7,681	地質調査、測量、設計にかかる費用等
	全体事業費				57,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸 東北自動車道	一般国道7号 遊佐象潟道路	2	17.9km

■残事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				34,875	
	改良費				18,604	
		土工	m ³	4,099,038	10,122	切土(1,337,692m ³)、盛土(2,761,346m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	2,733,546	3,146	
		法面工	m ²	445,883	941	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	100	
		管渠工	m	2,811	201	
		函渠工	m	1,310	904	
		排水工	m	14,867	1,323	
		中央分離帯工	m	17,176	673	
		雑工	式	1	1,194	跨道橋、付替え道路、機能補償道路等
	橋梁費				5,732	
		100m以上	m	1,081	3,349	6橋
		100m未満	m	286	2,383	5橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				3,452	
		IC	箇所	3	3,452	ハーフ(2)、フル(1)
		JCT	箇所			
	舗装費				3,732	
		車道舗装	m ²	233,213	3,732	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				3,355	
		交通管理施設工	式	1	3,355	標識工、防護柵工、防雪柵工、道路情報板等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				1,215	
	用地費		m ²	597,124	1,028	
		宅地	m ²	8,369	190	
		田畑	m ²	152,819	483	
		山林・原野	m ²	435,936	355	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	187	
③	間接経費		式	1	3,555	地質調査、測量、設計にかかる費用等
	全体事業費				39,645	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道7号	遊佐象潟道路	2	17.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	17.9	7,751	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	16,014	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			23,765	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。